

分野横断的公募事業の紹介

(大学・研究機関/スタートアップ・大学発ベンチャー/中小企業向け事業)

2023年1月

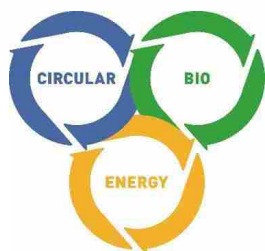
資料内対象事業者の色凡例

- 主に大学・研究機関
- 主にスタートアップ
- 主に中小企業

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) イノベーション推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ニューザ川崎セントラルタワー (総合受付16F)
TEL : 044-520-5170 E-mail : inv-caravan@nedo.go.jp

NEDOとは



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDO (New Energy and Industrial Technology Development Organization)

- 日本最大級の公的研究開発マネジメント機関
・経済産業省所管 ・職員数 1412名 (2022年4月1日現在)
- NEDOのミッション
・エネルギー・地球環境問題の解決 ・産業技術力の強化

NEDOにおける研究開発事業の概要

ナショナルプロジェクト

- エネルギーシステム分野
エネルギーシステム技術、再生可能エネルギー技術 等
- 省エネルギー・環境分野
省エネルギー技術、次世代火力・CCUS技術、環境・省資源技術 等
- 産業技術分野
ロボット・AI技術、IoT・電子・情報技術、ものづくり技術、
材料・ナノテクノロジー、バイオテクノロジー 等

特定公募型研究開発

- ムーンショット型研究開発事業
- ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業
- グリーンイノベーション基金事業 等

テーマ公募型事業

次世代プロジェクトシーズ発掘事業

- NEDO先導研究プログラム
- 官民による若手研究者発掘支援事業

研究開発プロジェクト(ナショナルプロジェクト等)の創出

研究開発型スタートアップ支援事業

- 起業前からEXITまでのシームレスな支援事業

研究開発成果の実用化・事業化支援

- 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業
- 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
- SBIR推進プログラム

シーズ発掘から事業化までシームレスに支援を行うNEDOのプラットフォーム



P13～ 研究開発成果の実用化・事業化支援事業

中堅・中小企業等

スタートアップ
大学発ベンチャー

- ・ 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業
- ・ 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
- ・ SBIR推進プログラム (SBIR)

P2～ 次世代プロジェクトシーズ発掘事業

大学等の研究者

企業等

- ・ 官民による若手研究者発掘支援事業
- ・ 先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム
- ・ 先導研究プログラム/未踏チャレンジ

事業化

P6～ 研究開発型スタートアップ支援事業

スタートアップ
大学発ベンチャー

- ・ NEDO Technology Commercialization Program (TCP)
- ・ NEDO Entrepreneurs Program (NEP)
- ・ シード期の研究開発型スタートアップ (STS) △の事業化支援
- ・ Product Commercialization Alliance (PCA)
- ・ 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)

P17～ マッチング支援事業

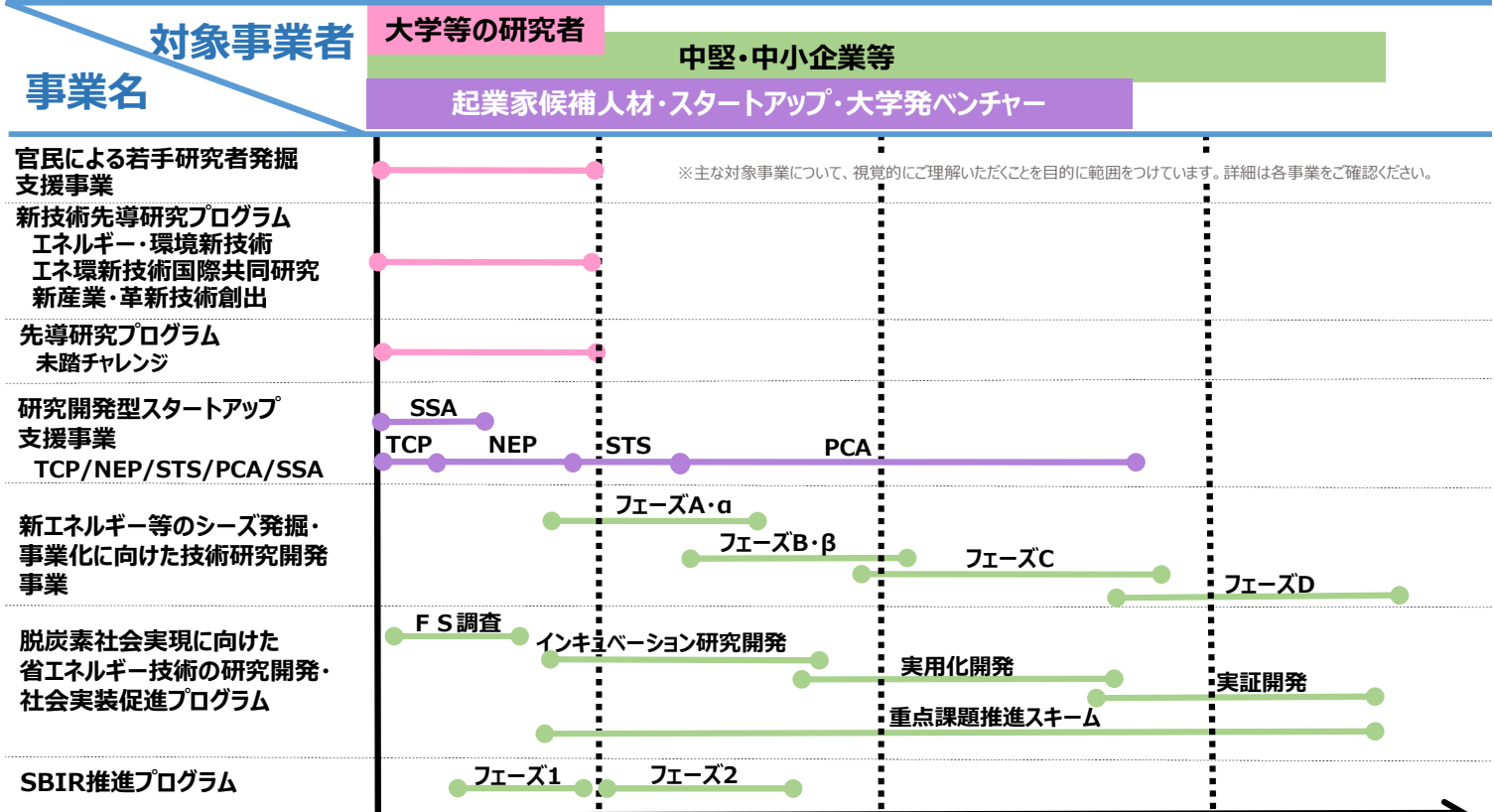
金融マッチング
シリコンバレー研修
K-NIC
ビジネスマッチング

スタートアップ
大学発ベンチャー

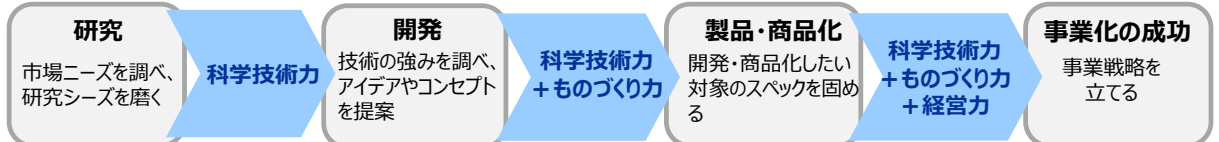
中堅・中小企業

※「中堅・中小企業」「大学等」「スタートアップ」アイコンは、視覚的分類を目的につけており、事業によっては、応募対象を制限しているとは限りません。詳細は各事業をご確認ください。

自社に合ったフェーズ・性質の事業をご検討ください



事業フェーズ



■ 次世代プロジェクトシーズ発掘事業

官民による若手研究者発掘支援事業

公募予告中 2023年2月上旬～予定

・・・P.3

企業との共同研究等を志向する若手研究者を支援

官民による若手研究者発掘支援事業・スタートアップ課題解決支援型

公募予告中 2023年2月上旬～予定

研究開発型スタートアップ等の事業推進や新事業創出の技術課題を解決する若手研究者を支援

問い合わせ先：新領域ムーンショット部 E-MAIL：wakate-contact@nedo.go.jp

実施期間：2020年度から2027年度まで実施予定

NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム

・・・P.4

エネルギー・環境新技術先導研究プログラム

公募中 2022/12/27～2023/2/15

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発

公募予告中 2023年1月下旬～3月下旬予定

新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム

公募中 2022/12/27～2023/2/15

将来の国家プロジェクトになり得る革新的な技術シーズの発掘

問い合わせ先：新領域ムーンショット部 E-MAIL：enekan@nedo.go.jp

(国際共同研究開発 国際部 E-MAIL：shinkakushin@ml.nedo.go.jp)

実施期間：エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 2014年度から実施

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発 2023年度から実施

新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム 2023年度から実施

NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ

公募予告中 2023年2月上旬～4月上旬予定

・・・P.5

従来の発想によらない革新的な脱炭素技術シーズを探索・創出

問い合わせ先：新領域ムーンショット部 E-MAIL：mitou@nedo.go.jp

実施期間：2023年度から実施

次世代のイノベーションを担う人材の育成、我が国における新産業の創出に貢献

官民による若手研究者発掘支援事業

実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う大学等※1に所属する若手研究者※2を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進する等の支援を実施します。

■事業スキーム

	共同研究フェーズ	マッチングサポートフェーズ
対象者	大学等に所属する若手研究者 (助成金の交付先は、若手研究者が所属する大学等)	
事業形態	助成	
費用	1テーマあたり3千万円以内/年 (共同研究等を実施する企業から支払われる共同研究等費用と同額以下)	1テーマあたり1千万円以内/年
事業期間	最大3年	最大2年
対象技術分野	産業技術分野及びエネルギー・環境分野の実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究で、企業と新産業の創出に貢献することを目指した共同研究等を行うもの 但し、「医薬・創薬分野、医療機器分野」に限定した研究開発は対象外	

※1 大学等：国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関

※2 若手研究者：主任研究者（大学等に在籍する研究者で、助成事業の開始年度の4月1日時点において、博士号の学位の取得者であり、かつ45歳未満）及び登録研究員（大学等に在籍する研究者又は学生で、助成事業の開始年度の4月1日時点において、博士号の学位を取得又は研究開発能力を有していることを所属部署等の長から認められた者であり、かつ45歳未満）

■公募情報

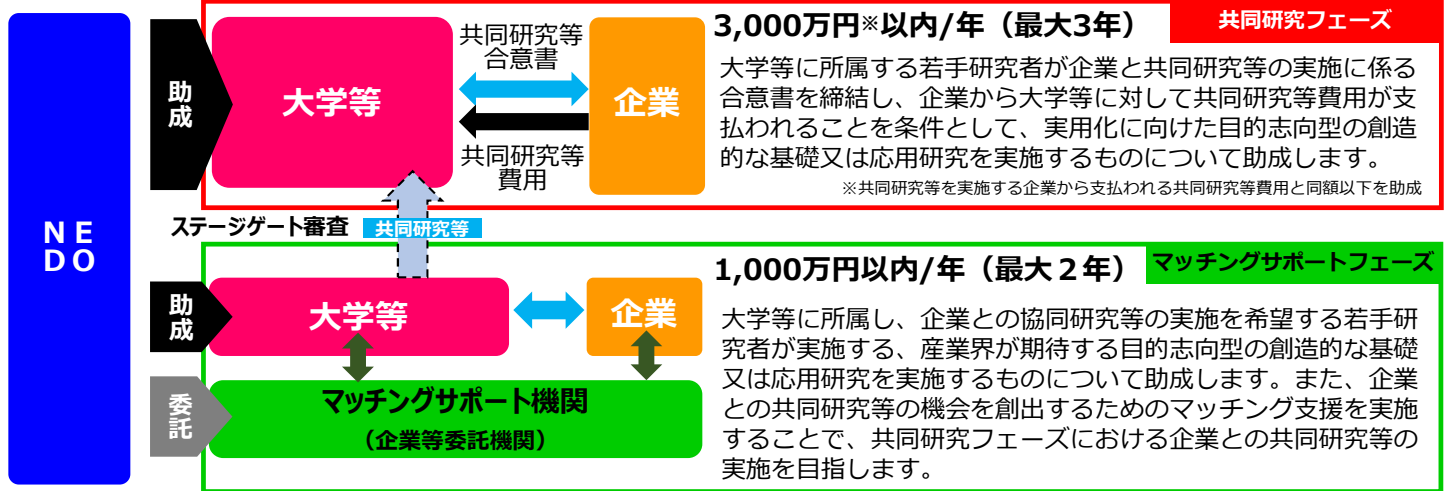
	公募期間
第1回	2020年6月23日～2020年8月17日
第2回	2020年12月28日～2021年2月5日
第3回	2021年8月31日～2021年10月25日
第4回	2022年3月28日～2022年5月16日
第5回	公募予告中 2023年2月上旬～予定

■事業紹介

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html

官民による若手研究者発掘支援事業・スタートアップ課題解決支援型の事業スキームについては決定次第WEBに掲載します

■事業概要図



■若手研究者産学連携プラットフォーム

<https://wakasapo.nedo.go.jp>

マッチングサポートフェーズの若手研究者の研究シーズを専用サイトでご紹介しております。カテゴリ・エリアから研究シーズを検索していただけます。



NEDO 若手研究者

検索

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html

将来の国家プロジェクトになり得る革新的な技術シーズの発掘・育成

NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム

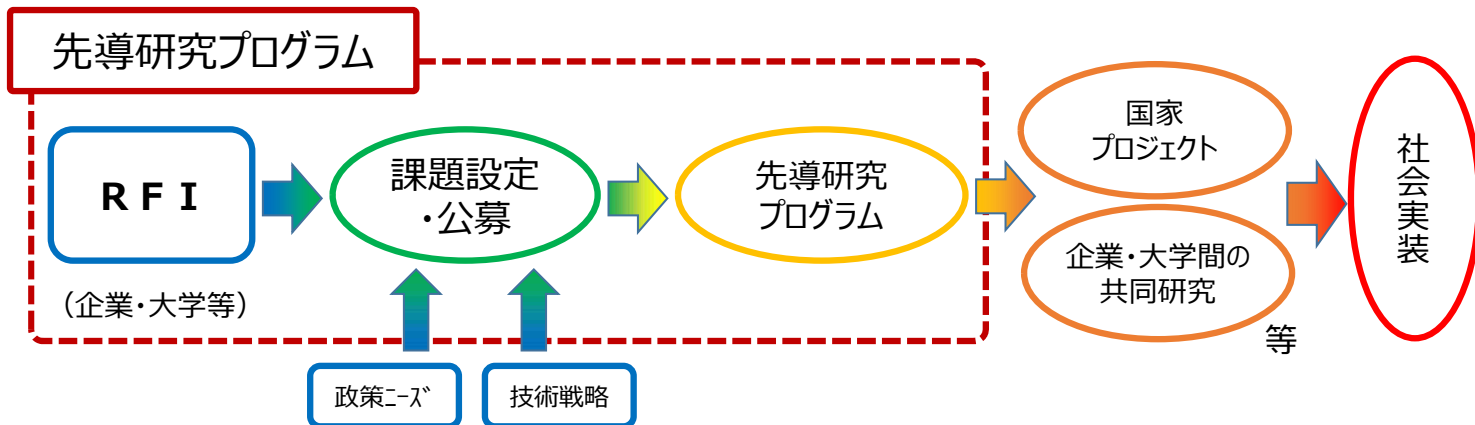
脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、2040年以降（先導研究開始から15年以上先）の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、将来の国家プロジェクト等につなげていきます。

プログラム	エネルギー・環境新技術先導研究プログラム
実施体制	企業、大学等による産学連携体制（大学・公的研究機関等のみは不可）
事業形態	委託（NEDO100%負担）
委託金額上限/件	1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内（中間評価の結果による）
事業期間	最長3年間 2年目に中間評価
対象技術分野	省エネルギー、新エネルギー、CO2削減等のエネルギー・環境分野

プログラム	エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発
実施体制	産学連携体制／大学・公的研究機関等による海外機関との共同研究
事業形態	委託（NEDO100%負担）
委託金額上限/件	1年目：2.5千万円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内（中間評価の結果による） 4年目：2.5千万円以内（中間評価の結果による）
事業期間	最長3年間 2年目に中間評価
対象技術分野	省エネルギー、新エネルギー、CO2削減等のエネルギー・環境分野 海外機関との共同研究による提案が前提

プログラム	新産業・革新技术創出に向けた先導研究プログラム	
	2022年度までの「新産業創出新技術先導研究プログラム」及び「マテリアル・バイオ革新技术先導研究プログラム」を2023年度より本事業に統合	
実施体制	企業、大学等による産学連携体制	大学・公的研究機関のみ（産学連携体制の例外※1）
事業形態	委託（NEDO100%負担）	
委託金額上限/件	1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内（中間評価の結果による）	2千万円
事業期間	最長3年間 2年目に中間評価	最長1年間
対象技術分野	新産業創出に結びつく産業技術分野	

※1 産学連携体制の例外・・・将来的に産学連携となる研究開発体制の具体的な想定があり、かつ、少なくとも現時点で連携先となる企業を模索する具体的な取り組みが行われていることを前提とします。



NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム 過去の予算額と公募情報

2019年度	予算：37.4億円（内数） 7.9億円（内数）	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 採択44件/応募110件（2.5倍） ◆新産業創出新技術先導研究プログラム 採択6件/応募16件（2.7倍）
2020年度	予算：39.5億円（内数） 9.5億円（内数）	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 第1回 採択29件/応募60件（2.1倍） 第2回 採択21件/応募74件（3.5倍） ◆新産業創出新技術先導研究プログラム 採択5件/応募37件（7.4倍）
2021年度	予算：39.5億円（内数） 9.4億円（内数）	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 採択28件/応募73件（2.6倍） 2020年12月25日～2月12日 ◆新産業創出新技術先導研究プログラム 採択4件/応募41件（10.3倍） 2020年12月25日～2月12日 ◆マテリアル革新技术先導研究プログラム 採択8件/応募61件（7.6倍） 2021年02月10日～3月26日
2022年度	予算：43.01億円（内数） 9.1億円（内数）	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 採択20件/応募77件（3.9倍） 2021年12月28日～2022年2月16日 ◆新産業創出新技術先導研究プログラム 採択3件/応募31件（10.3倍） 2021年12月28日～2022年2月16日 ◆マテリアル・バイオ革新技术先導研究プログラム 採択2件/応募46件（23倍） 2022年1月28日～2022年3月14日
2023年度	予算：未定	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 公募期間：2022年12月27日～2023年2月15日 ◆新産業・革新技术創出に向けた先導研究プログラム 公募期間：2022年12月27日～2023年2月15日 ◆エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発 公募予告中：2023年1月下旬～3月下旬予定

○NEDO先導研究プログラムの事業の詳細、採択結果等は、以下でご確認いただけます。

NEDOホームページ> 事業紹介> 分野横断的公募事業→NEDO先導研究プログラム〔エネルギー・環境新技術先導研究プログラム／新産業創出新技術先導研究プログラム／マテリアル・バイオ革新技术先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050〕

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100100.html

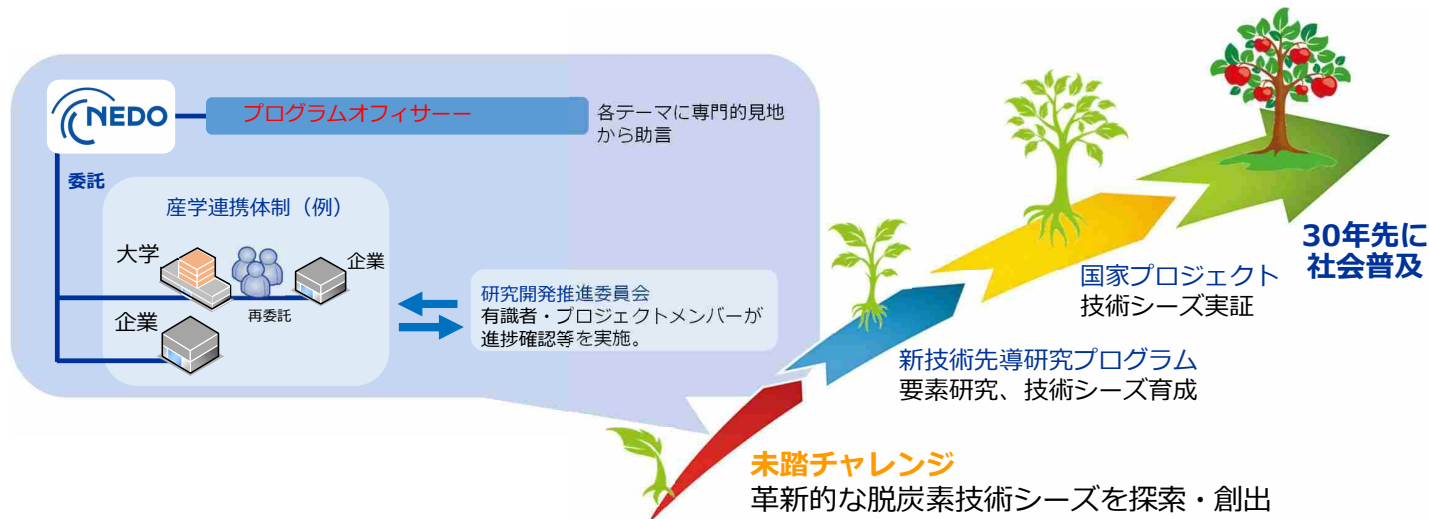


従来の発想によらない革新的な脱炭素技術シーズを探索・創出

NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ

脱炭素社会の実現に向けて、事業開始後30年先の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。

対象者	産学連携体制／大学・公的研究機関等のみ ※年齢制限は無し
事業形態	委託（NEDO100%負担）
委託金額上限/件	5百～2千万円程度/年
事業期間	最長5年間 ※2～3年目に中間評価
対象技術分野	省エネルギー、新エネルギー、CO2削減等のエネルギー・環境分野 ＜公募ごとに分野を指定した上で、解決すべき技術課題とそれを解決する研究開発内容を募集＞



「NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050」予算額と公募情報

年度	予算	公募期間	採択数/応募数
2017年度	0.8億円	2017年05月31日～7月18日	採択8件/応募32件 (4.0倍)
2018年度	2.0億円	2018年05月28日～7月12日	採択4件/応募22件 (5.5倍)
2019年度	1.8億円	2019年05月24日～7月12日	採択9件/応募33件 (3.7倍)
2020年度	0.8億円	2020年04月24日～6月30日	採択8件/応募40件 (5.0倍)
2021年度	1.0億円	2021年04月27日～6月30日	採択7件/応募38件 (5.4倍)
2022年度	0.8億円	2022年03月28日～5月23日	採択8件/応募38件 (4.8倍)

「NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ」予算額と公募情報

2023年度	予算：未定	公募予告中：2023年2月上旬から4月上旬予定
--------	-------	-------------------------

2023年度公募研究開発テーマの対象研究領域：<https://www.nedo.go.jp/content/100955085.pdf>



「NEDO先導研究プログラム」のパンフレットを発行しています。

NEDOホームページ

ホーム>刊行物・資料>パンフレット>分野横断的公募事業

>NEDO先導研究プログラム に掲載しています。(PDFをダウンロードし参照いただけます。)

http://www.nedo.go.jp/library/pamphlets/ZZ_pamphlets_00005.html

●事業ページ



●パンフレット



■ 研究開発型スタートアップ支援事業

研究開発型スタートアップ支援事業の全体像(2022年度実績)

……P.7

実施期間：2014年度から2023年度までの10年間 2023年度公募からは新事業として実施

2023年度公募前 新事業へ移行準備中

Technology Commercialization Program (TCP)

……P.8

起業家候補となる人材発掘・育成支援プログラム

問い合わせ先：イノベーション推進部TCP事務局

E-MAIL：NEDO_TCP@nedo.go.jp

2023年度公募前 新事業へ移行準備中

NEDO Entrepreneurs Program (NEP)

……P.9

研究開発型スタートアップを目指す起業家候補のための事業化/PoC支援

問い合わせ先：イノベーション推進部NEP事務局

E-MAIL：NEP@nedo.go.jp

2023年度公募前 新事業へ移行準備中

シード期の研究開発型スタートアップへの事業化支援 (STS)

……P.10

ベンチャーキャピタル等との連携によるシード期のスタートアップ支援

問い合わせ先：イノベーション推進部STS事務局

E-MAIL：vc-vb@nedo.go.jp

2023年度公募前 新事業へ移行準備中

Product Commercialization Alliance (PCA)

……P.11

事業会社・VC・研究期間等と連携した研究開発型スタートアップの実用化開発支援

問い合わせ先：イノベーション推進部PCA事務局

E-MAIL：vc-vb@nedo.go.jp

2023年度公募前 新事業へ移行準備中

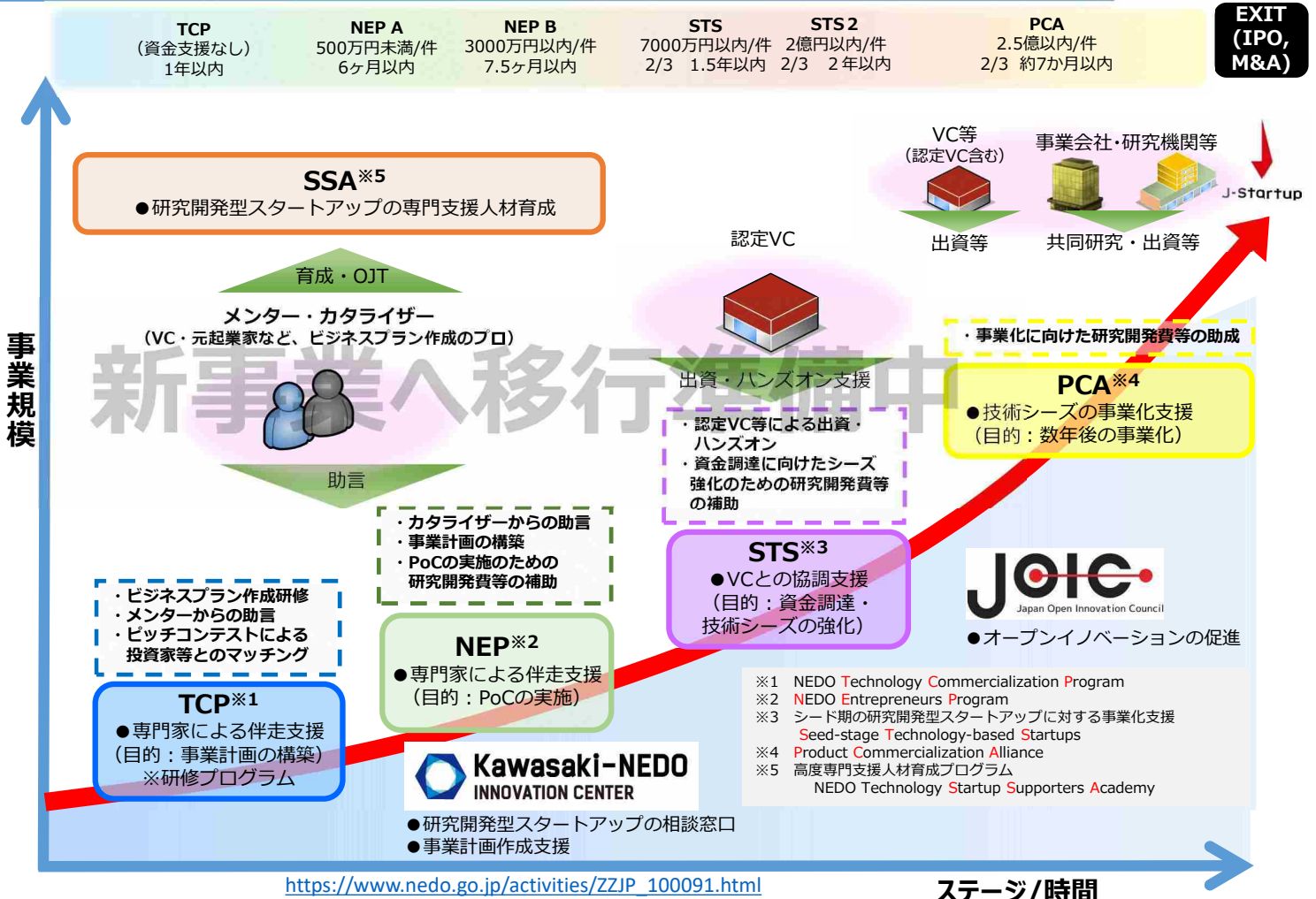
高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)

……P.12

研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う専門支援人材を養成

問い合わせ先：イノベーション推進部 スタートアップグループ

E-MAIL：tech-ssa@nedo.go.jp

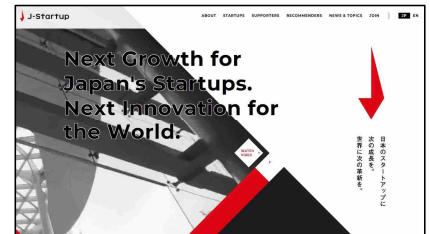


日本のスタートアップに次の成長を。
世界に次の革新を。

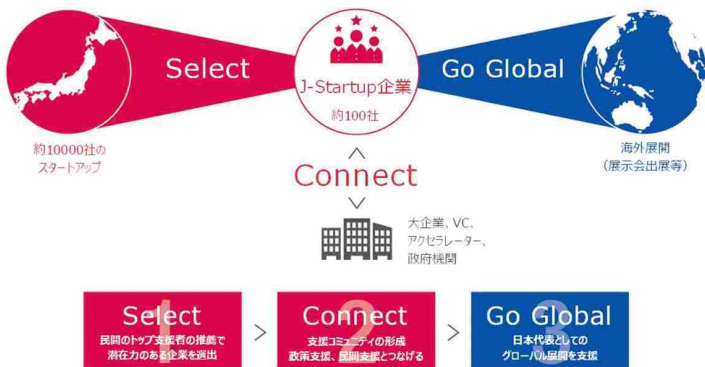


J-Startup

<https://www.j-startup.go.jp/>



公式ホームページは「J-Startup」で検索！(スマホ対応)
公式Facebookページで随時情報発信中！！



日本では約1万社のスタートアップが日々新しい挑戦をしています。しかし、グローバルに活躍する企業はまだ一部。

世界で戦い勝てる企業を作り、世界に新しい革新を提供する。J-Startupは選ばれた企業を官民で集中支援し、成功モデルを創出します。

「ブーム」から「カルチャー」へ。

ここで生まれたヒーローがスタートアップの地位を高め、日本のベンチャーエコシステムをさらに強くします。

現在選定されたStartupは188社。経済産業省、JETROと共にNEDOも事務局を担っています。詳細は公式ホームページをご確認ください。

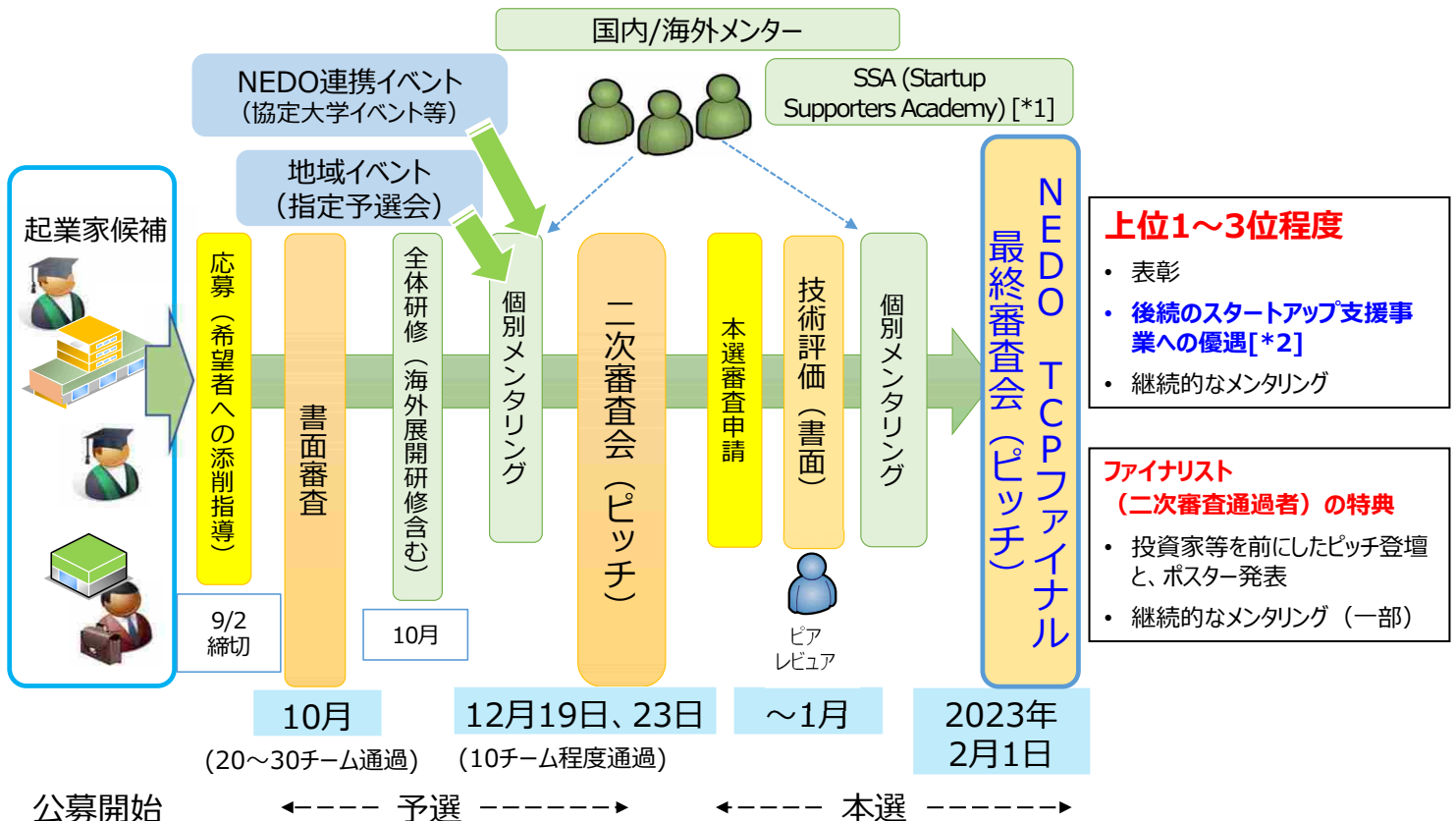
大学、研究機関、スタートアップの起業家の育成支援プログラム

Technology Commercialization Program (TCP)

将来起業することを視野に入れている方を対象に、ビジネスプラン作成研修、メンターからの助言、ピッチコンテストによる投資家等とのマッチングの機会を提供します。

対象者 (主な要件)	大学等の技術シーズを用いて起業を目指す研究者等（企業/大学等の個人/研究者又は研究チーム） ・公募開始時（公募開始以前のイベントはイベント参加時）に、起業していない個人、研究者又は研究チーム ・具体的な技術シーズを活用し、それに基づく事業構想を有する起業家であって、我が国の経済活性化に寄与すると認められる内容であること	
募集分野	環境・エネルギー、電子・情報通信、バイオ・ヘルスケア、機械システム、ロボット、材料・ナノテクノロジー等の「技術」を活用したビジネスプラン ※但し、原子力技術に係るものは除く	
参加方法	・公募を実施します ・公募による参加以外に、各連携イベント・プログラムにて、NEDO賞を受賞すること 詳細はNEDO TCP 専用サイト参照： https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100103.html	
支援内容	・国内外の専門家による助言および研修 ・活動費の直接的な支援はなし	
賞	最優秀賞（1件）、優秀賞（1～2件）及びファイナリスト賞（10件程度）を表彰 ※優秀者には、後続の起業プログラムへ誘導するメンタリング等、優遇を予定	
TCP2022 スケジュール	プログラム	①希望する応募者への添削指導 ②専門家によるメンタリング（随時） ③オンライン研修、プレゼン指導研修、海外展開研修
	公募・書面審査	公募期間 6/28～9/2・書面審査 10月
	二次審査	12/19,12/23オンラインにて実施
	最終審査会（ピッチ）	2023/2/1 実地とオンラインによるハイブリット方式（予定）
その他	NEDO TCP 専用サイト： https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100103.html	

NEDO TCP2022の流れ



[*1]TCPチームにより、メンターの他にNEDOの支援人材がメンタリングに同席する場合があります。

[*2]具体的な対象事業は、2023年度事業の決定後になります。

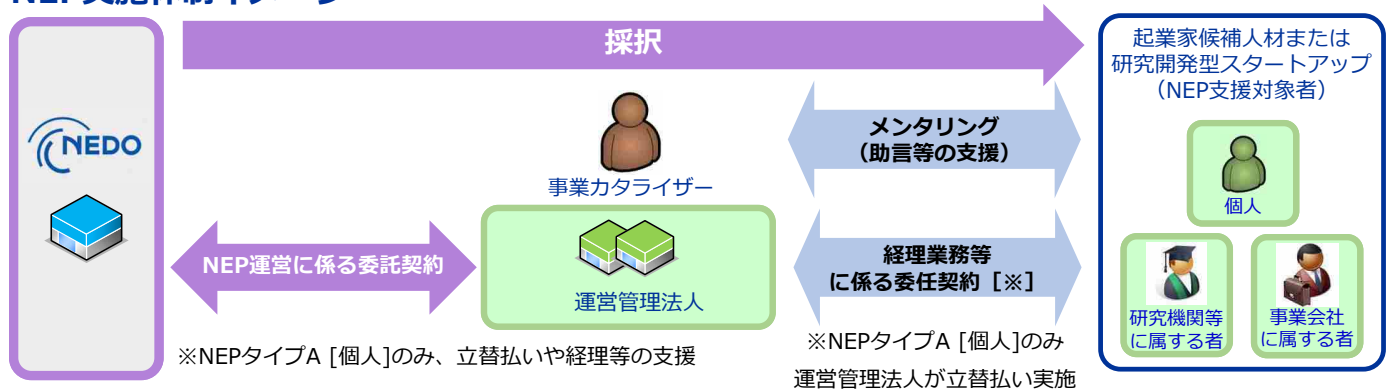
研究開発型スタートアップを目指す起業家候補のための事業化/PoC支援

NEDO Entrepreneurs Program (NEP)

技術シーズを活用した事業構想を有する起業家候補人材（個人、研究機関や企業等に属する者、又は事業化前の法人）に対し、事業化支援人材（事業カタライザー）による指導・助言の機会提供など、研究開発型スタートアップを立ち上げるための活動を支援します。

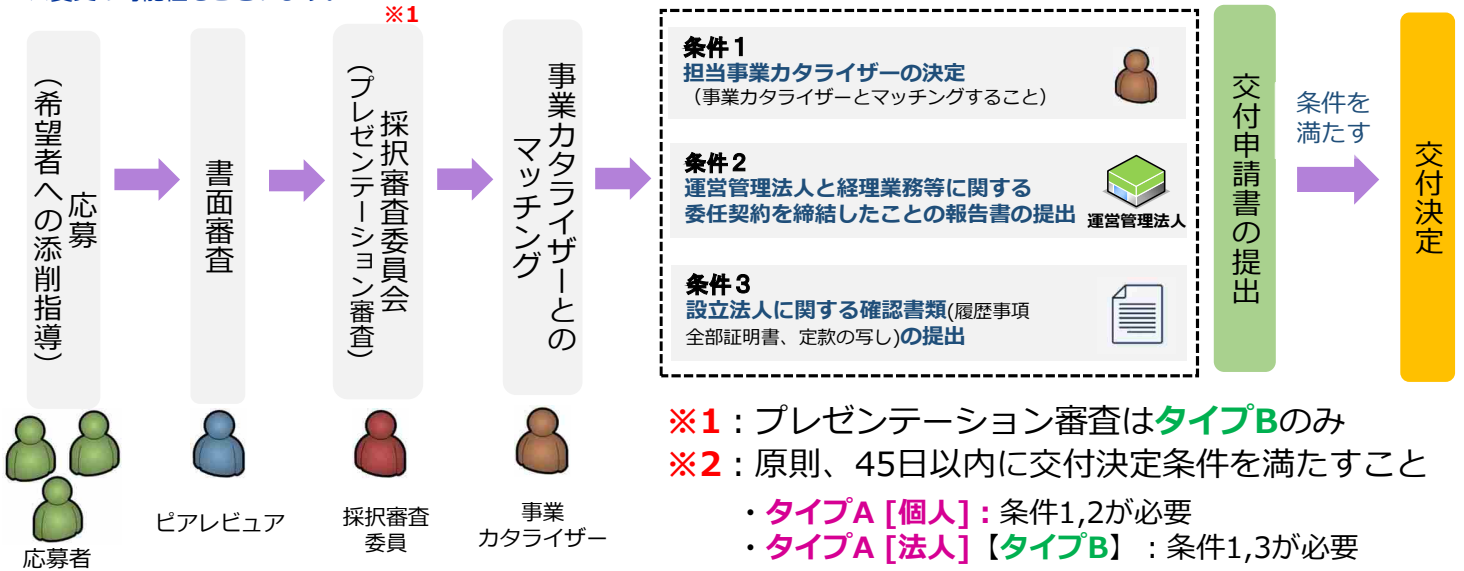
対象者	技術シーズを活用した事業構想を有する、起業家候補人材 (個人事業主、起業を志す企業の社員や研究者、事業化前の法人)
事業形態	助成 (NEDO負担：助成率100%)
助成金額(上限/件)	NEPタイプA 5百万円未満、NEPタイプB 3千万円以内 ※消費税(外税)は自己負担となります。
事業期間	NEPタイプA 6カ月以内、NEPタイプB 7.5カ月程度
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術 例：ロボティクス/AI/エレクトロニクス/IoT/環境/素材/医療機器/ライフサイエンス/バイオテクノロジー/航空宇宙等。 但し、原子力に係るものを除く)であること。

NEP実施体制イメージ



NEP2022の流れ

※変更の可能性もございます。



NEP予算額と公募情報

2018年度 (委託)	予算：1.0億円	公募 (4/24~5/24) 交付決定20件/応募90件 (4.5倍)
2019年度 (助成)	予算：1.0億円	公募 (3/25~4/25) 交付決定13件/応募45件 (3.5倍)
2020年度 (助成)	予算：約30億円	第1回公募 (4/28~5/28) 交付決定16件/応募38件 (2.4倍)
		第2回公募 (10/8~11/20) 交付決定22件/応募59件 (2.7倍)
2021年度 (助成)		第1回公募 (4/1~5/17) 交付決定28件/応募75件 (2.7倍)
		第2回公募 (10/8~11/30) 交付決定36件/応募100件 (2.8倍)
2022年度 (助成)		公募 (2/22~3/31) 交付決定33件/応募73件 (2.2倍)

※事業ページ



ベンチャーキャピタル等と連携してシード期のスタートアップを支援

シード期の研究開発型スタートアップ(STS)への事業化支援

具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDOが認定したベンチャーキャピタル等が出資を行うシード期の研究開発型スタートアップに対して、事業化のための助成を行います。

対象者	シード期の研究開発型スタートアップ企業 (STS) (NEDOが認定したベンチャーキャピタル等(認定VC)から助成対象費用の1/3以上の出資を受けること)
事業形態	助成 (NEDO負担率: 助成対象費用の2/3)
助成金額上限	7千万円若しくは2億円/事業期間
事業期間	交付決定日から2022年度末(2023年3月31日)まで 最長1.5年以内若しくは2024年3月31日まで延長の可能性あり
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術(ただし、原子力技術に関わるものは除く)



STS(Seed-stage Technology-based Startups)の主な要件

- 日本登記された法人であること。
※中小企業基本法等に定められている中小企業者に該当する法人で、みなし大企業に該当しないこと。
- 特定の技術シーズを有し、その実用化開発と事業化を行うシード期の研究開発型スタートアップであること。
- 認定VCから助成対象費用の1/3以上の出資を公募要領で定める期日以降に受けること。または、今後出資が予定されていること(出資の意思決定確認書等が必要)。
- 競争力強化のためのイノベーションを創出しようとするものであること。



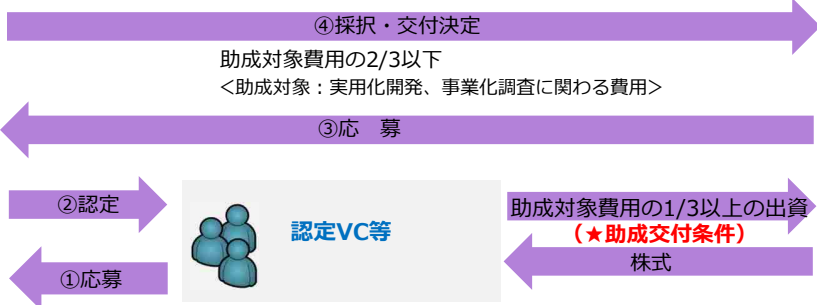
認定VC等の主な要件

- 業としてスタートアップ企業への投資機能を有し、STSを支援するハンズオン能力を有するVC等(チームによる申請可。)
- 国内にSTS等を支援する拠点(支店可)を有し、常駐スタッフを配置していること(計画段階可)。
ただし、常駐スタッフはSTSの支援実績、または支援能力を有すること。
<認定期間> 2022年度
ただしSTSの支援期間中は当該STSに対しての権利義務を継続。

2022年度認定VC一覧			
Abies Ventures株式会社	株式会社MAKOTOキャピタル	株式会社サムライインキュベート	ニッセイ・キャピタル株式会社
Angel Bridge株式会社	MedVenture Partners株式会社	株式会社ジュネシア・ベンチャーズ	日本ベンチャーキャピタル株式会社
ANRI株式会社	QBキャピタル合同会社	ジャコ グループ株式会社	バイオ・サイト・キャピタル株式会社
Beyond Next Ventures株式会社	SBIインベストメント株式会社	スクラムベンチャーズ合同会社	株式会社ファストラックイニシアティブ
Bonds Investment Group株式会社	伊藤忠テクノロジーズベンチャーズ株式会社	株式会社ディーブコア	みやこキャピタル株式会社
Coral Capital	インキュベイトファンド株式会社	株式会社デフタ・キャピタル	株式会社創造機構
DBJキャピタル株式会社	※ウエルインベストメント株式会社/AZCA, Inc.	株式会社デライト・ベンチャーズ	ユニバーサルマテリアルズインキュベータ株式会社
株式会社DGインキュベーション	大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社	東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社	合同会社リアルテックジャパン
DRONE FUND株式会社	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ	※Entrepreneurs Roundtable Accelerator
株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ	株式会社ケイエスピー	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社	※White Star Capital
JMTCキャピタル合同会社	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ	東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社	※海外に本拠地を有する会社

「研究開発型スタートアップ(STS)への事業化支援」予算額と公募情報

年度	予算	公募回数	公募期間	応募状況
2017年度	15.0 億円	第1回公募	2017/4/3~5/31	交付決定15件/応募26件 (1.6倍)
		第2回公募	2017/7/19~8/21	交付決定7件/応募12件 (1.7倍)
2018年度	8.0 億円	第1回公募	2018/3/19~5/7	交付決定9件/応募23件 (2.6倍)
		第2回公募	2018/7/12~8/31	交付決定9件/応募27件 (3.0倍)
2019年度	6.0 億円	第1回公募	2019/1/25~2/25	交付決定5件/応募21件 (4.2倍)
		第2回公募	2019/7/4~8/23	交付決定6件/応募19件 (3.2倍)
2020年度	7.0 億円	第1回公募	2020/1/27~2/27	交付決定6件/応募18件 (3.0倍)
		第2回公募	2020/5/26~7/15	交付決定6件/応募21件 (3.5倍)
		第3回公募	2020/10/9~12/3	交付決定5件/応募15件 (3.0倍)
2021年度	11.0 億円	第1回公募	2021/1/25~3/4	交付決定5件/応募17件 (3.4倍)
		第2回公募	2021/5/17~6/24	交付決定10件/応募19件 (1.9倍)
		第3回公募	2021/9/14~10/19	交付決定7件/応募22件 (3.1倍)
2022年度	8.0 億円	第1回公募	2022/2/14~3/17	交付決定5件/応募21件 (4.2倍)
		第2回公募	2022/6/1~7/1	交付予定3件/応募20件 (6.7倍)



シード期の
研究開発型
スタートアップ企業
(STS)
Seed-stage
Technology-based Startups



【参考】2022年度第1回公募 交付決定先 (5社)	マイクロサージャリー支援ロボットの開発
F. M E D株式会社	糖尿病による失明前兆である網膜血液循環異常の検知プログラム
DeepEyeVision株式会社	スマートフォン等を活用した道路管理AIの構築
株式会社アーバンエックステクノロジーズ	次世代経皮吸収技術を基盤とした革新的創薬モダリティ技術の確立
NOVIGO Pharma株式会社	マルチドメイン会話AIエージェントプラットフォーム事業開発
株式会社エキュメノポリス	
【参考】2022年度第2回公募 交付決定先 (3社)	新しい着想と原理に基づく超高速な金属3Dプリンターの開発
株式会社SUN METALON	視覚障がい者向け歩行ナビゲーションシステム あしらせ開発事業
株式会社Ashirase	光診断薬の普及と適用拡大を加速するための技術開発
HILO株式会社	

● 事業ページ



研究開発型スタートアップ企業の実用化開発を支援

Product Commercialization Alliance (PCA)

提案時から数年で継続的な売り上げをたてる具体的な計画がある研究開発型スタートアップを支援。

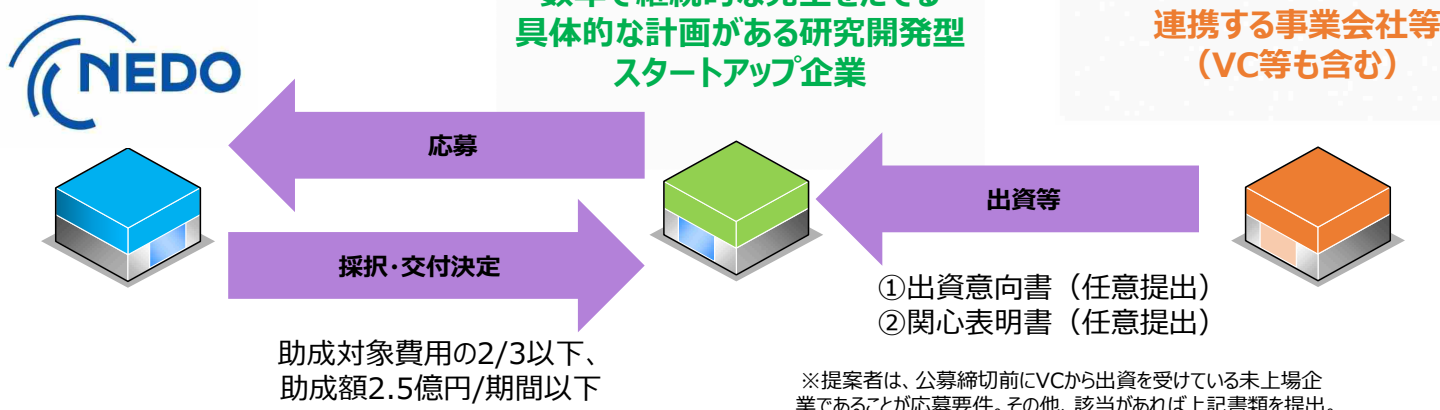
事業概要

対象者	<p>研究開発型スタートアップ 具体的な技術シーズを活用し、事業会社と連携する事業構想を持ち、提案時から数年で継続的な売り上げをたてる具体的な計画がある研究開発型スタートアップ。 また、中小企業要件を満たす本邦法人であって、その事業活動に係る主たる技術開発および意思決定のための拠点を日本国内に有すること。</p>
事業形態	助成 (NEDO負担率: 2/3)
助成金額上限	原則2.5億円
事業期間	交付決定日から2023年2月28日まで
対象技術	経済産業省所管の鉱工業技術 (但し、原子力技術に係るものは除く)
公募情報	公募期間 2022年2月4日から3月31日 (公募終了)

「Product Commercialization Alliance (PCA)」予算額と公募情報

2020年度	予算 : 15.0億円	交付決定10件/応募59件 (5.9倍)
2021年度	予算 : 8.8億円	2021年2月26日~4月5日 交付決定 5件/応募17件 (3.4倍)
2022年度	予算 : 約8億円	2022年2月4日~3月31日 交付予定 5件/応募25件 (5倍)

● 事業概念図



【参考】2022年度公募 交付決定先 (5社)

株式会社FullDepth エレファンテック株式会社 Rapyuta Robotics株式会社 FRAIM株式会社 WOTA株式会社	次世代型水中ロボティクス基盤技術の開発 金属インクジェット印刷による両面基盤の製造技術開発 群制御機能を用いた低コストかつフレキシブルな自動倉庫システム 規制改訂に伴う影響文書の自動特定及び修正支援技術の実用化 小規模分散型水循環システム実証事業
--	---

研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う、専門支援人材を輩出 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)

広い知見と高い専門性を持ち、研究開発型スタートアップの成長を伴走支援できる人材の育成を行う高度専門支援人材育成プログラム「NEDO Technology Startup Supporters Academy (SSA)」を実施します。

対象者	イノベーションの担い手である研究開発型スタートアップの創出支援の現場をリードしていく、またはリードしていくであろう人材、もしくは、今後こうした支援キャリアを目指そうとする若手支援者候補など
対象者例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国大学の産学連携・知財本部などのシーズの社会実装や事業化に従事もしくは関心のある関連教職員、URA、コーディネーター、TLO役職員、ポスドク等 ○ イノベーション・モブづくり支援等を担う自治体部局や公的産業支援機関の担当職員、インキュベーションマネージャー、コーディネーター ○ 民間企業にてオープンイノベーションや社内発のカーブアウト、スピノフベンチャー創出、CVC活動など、スタートアップ支援に関する専門性・キャリアを高めた関係部局の担当者 ○ VC等で、各地の研究機関や公的機関と連携し、シード段階から積極的に技術の目利きや掘り起こしを行い、研究開発型SU等の個社支援やハンズオン支援のスキル習得、専門性を志向するキャピタリスト ○ DEEP TECH系スタートアップの支援的立場から準備を進め、後の起業や経営人材への参画を目指す者 ○ 上記に準ずる職能の者あるいはベンチャー支援のキャリア形成を志す人材など ※修了者例 (NEDO SSAフェロー) : https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100114.html
目的	日本のベンチャー・エコシステムの構成員としての公益的視点、広い知見や高い専門性を持って先端の研究開発型ベンチャーの発掘から成長を伴走支援できる、現場の中核的役割を担う高度専門支援人材、上記のキャリアパスを志向するイノベーション支援人材を、産・学・官・公・民の横串で育成します。
プログラム	【1】 DeepTech系スタートアップ支援に必要な、基本的な知識やスキルを身に付ける講義群 【2】 伴走型支援者としてのマインドを培う場の提供 【3】 上記のOJT (NEDO事業者の支援現場) での実践的なアウトプット機会の提供など
事業期間	○公募期間：2022年8月8日～9月2日 ○受講期間：2022年10月中旬～2023年3月初旬迄 (延べ約4カ月間)

受講要件等

定員：20名～40名程度

参加費：無料

(ただし、参加に係る交通費等の実費は自己負担)

選考：書面審査、面談により受講者を決定します。

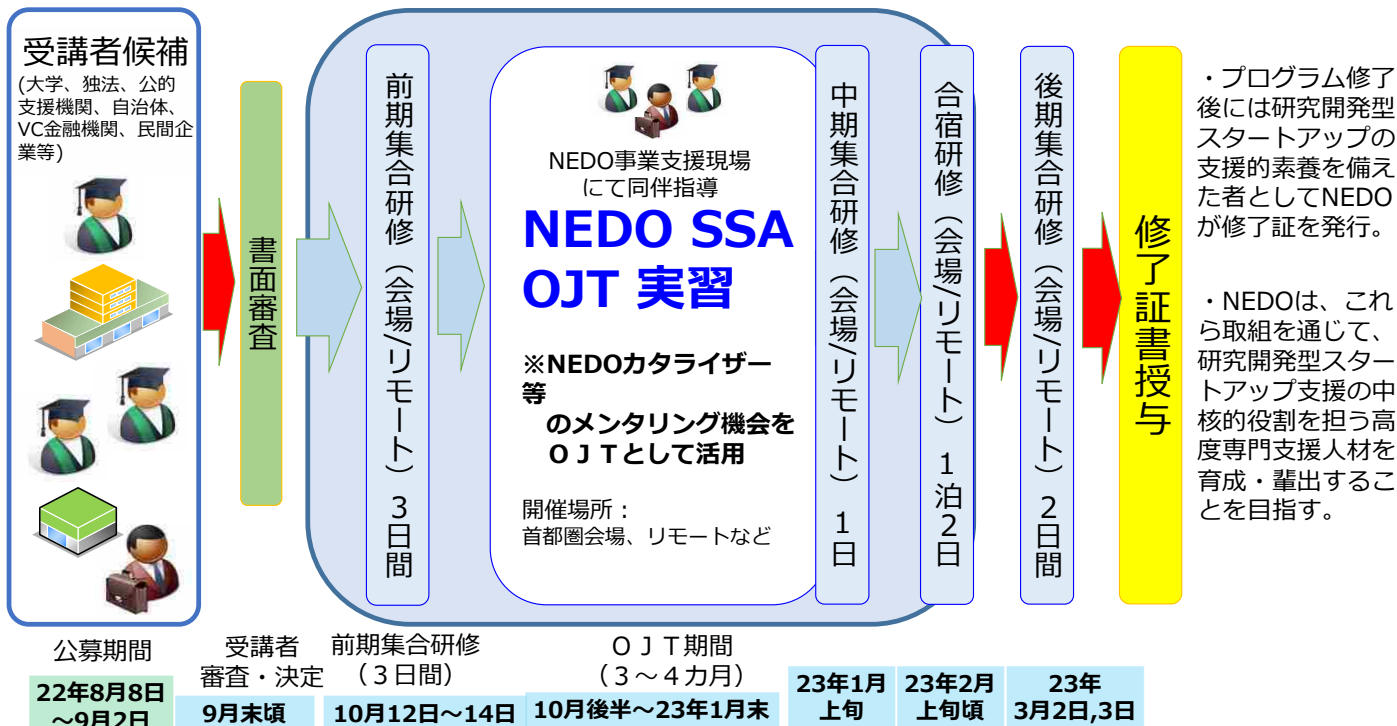


後援機関等 (過去例)

(国研) 産業技術総合研究所 / (国研) 科学技術振興機構 / (国研) 理化学研究所
 (国研) 情報通信研究機構 / (国研) 日本医療研究開発機構 / (国研) 宇宙航空研究開発機構
 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 / (国研) 物質・材料研究機構 / (国研) 海洋研究開発機構
 (独) 日本貿易振興機構 / (独) 中小企業基盤整備機構 / (独) 情報処理推進機構
 (一財) ベンチャー・エンタープライズセンター / (一社) 日本ベンチャーキャピタル協会
 オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会ほか

2017年度	募集期間：8/21～9/19	受講者数	25名/応募72名
2018年度	募集期間：8/21～9/20	受講者数	41名/応募85名
2019年度	募集期間：7/4～8/2	受講者数	31名/応募64名
2020/2021年度	募集無し		
2022年度	第1回 募集期間：3/11～3/31	受講者数	39名/応募93名
	第2回 募集期間：8/8～9/2	受講者数	39名/応募101名

第一線で活躍するベンチャー・スタートアップやイノベーション等の有識者(研究者、実務家等)による研究開発型スタートアップの創出や支援について必要となる基本的な知識や考え方・方法論等に関する講義、ワークショップによる課題や論点のディスカッション、NEDOプログラムならではの起業者の“生”の支援現場を実践支援するOJT機会、それら特別な体験と希有な支援者ネットワークの構築など、充実したプログラムを提供します。



■ 研究開発成果の実用化・事業化支援事業

公募予告中（2023年2月下旬～4月中旬公募予定）

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 ……P.14

再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援

問い合わせ先：イノベーション推進部 プラットフォームグループ E-MAIL：venture-pfq@nedo.go.jp
実施期間：2007年度から実施

公募予告中（2023年2月上旬～3月中旬公募予定）

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム ……P.15

高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援

問い合わせ先：省エネルギー部「脱炭素省エネプログラム」事務局 E-MAIL：shouene@nedo.go.jp
実施期間：2021年度から2035年度まで15年間

2023年度公募前

SBIR推進プログラム（Small Business Innovation Research） ……P.16

社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発課題にチャレンジするスタートアップを支援

問い合わせ先：イノベーション推進部SBIR事務局 E-MAIL：sbir-r3@nedo.go.jp
実施期間：2021年度から実施

再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

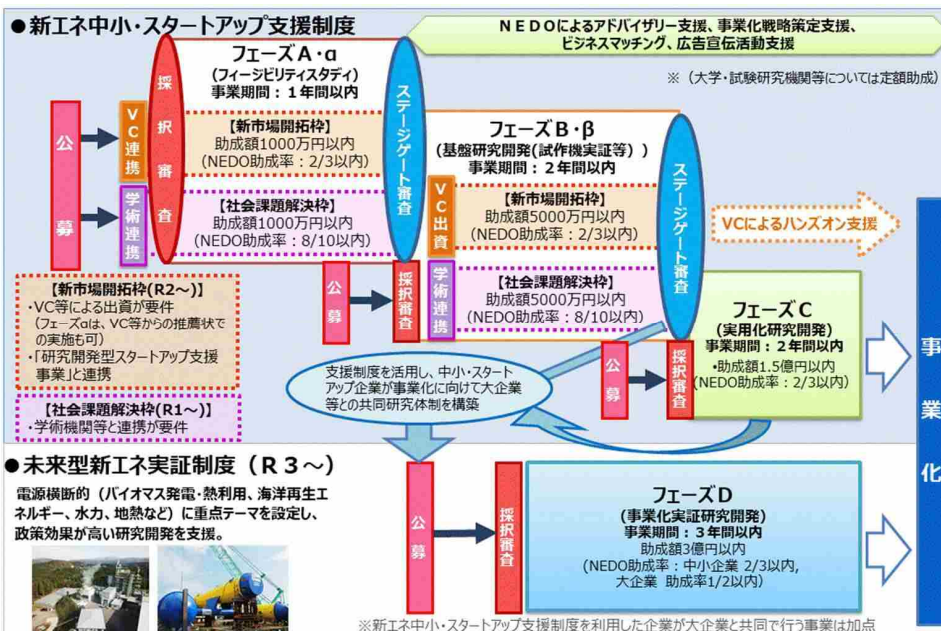
技術の事業化までのステップや事業化計画の進捗状況に合わせて、2つの制度（新エネ中小・スタートアップ支援制度、未来型新エネ実証制度）及び6つのフェーズ（社会課題解決枠フェーズA及びB、新市場開拓枠フェーズα及びβ、フェーズC、フェーズD）を設け、中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業のご提案を公募・選定し、事業化を見据えた技術開発支援を行います。

制度	新エネ中小・スタートアップ支援制度					未来型新エネ実証制度
対象者	中小企業等（フェーズA及びBは、学術機関等との連携体制による応募が必要）					国内で登記済の企業等
フェーズ	社会課題解決枠		新市場開拓枠		フェーズC (実用化研究開発)	フェーズD (事業化実証研究開発)
	フェーズA (FS)	フェーズB (基盤研究)	フェーズα (FS)	フェーズβ (基盤研究)		
各フェーズからの応募が可能	<ul style="list-style-type: none"> 技術開発や実用化の方向性を検討するためのフェーズA・α (FS) を実施 NEDOが設定する研究開発課題に合致するテーマを実施 共同研究先に学術機関等を加えること 	<ul style="list-style-type: none"> 実用化に向けて必要となる基盤技術の研究を実施 NEDOが設定する研究開発課題に合致するテーマを実施 実施体制に学術機関等を加えること 	<ul style="list-style-type: none"> 技術開発や実用化の方向性を検討するためのフェーズA・α (FS) を実施 VC等からの出資証明書類もしくは出資意向確認を提出すること 	<ul style="list-style-type: none"> 実用化に向けて必要となる基盤技術の研究を実施 VC等からの出資証明書類もしくは出資予定を示す書類を提出すること 	<ul style="list-style-type: none"> 事業化の可能性が高い基盤技術の事業化に向けて必要となる実用化技術の研究や実証研究等を実施 事業終了後、3年以内での実用化を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの大量導入における課題を解決しようとする実証事業を実施 NEDOが設定する技術実証課題に合致するテーマを実施 事業終了後、1年程度での実用化を目指す
事業形態 ※①	助成 NEDO助成率 8/10以内	助成 NEDO助成率 8/10以内	助成 NEDO助成率 2/3以内	助成 NEDO助成率 2/3以内	助成 NEDO助成率 2/3以内	助成 NEDO助成率 1/2、2/3以内
助成金額 上限/件	1千万円/件	5千万円/件	1千万円/件	5千万円/件	1.5億円/件	3億円/件
事業期間	1年以内	2年以内	1年以内	2年以内	2年以内	3年以内
対象技術	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー基本計画、新成長戦略等に示される以下の分野 (1)太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用、その他未利用エネルギー分野 (2)再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等） 					地熱発電、バイオマス利用、その他未利用エネルギー分野

※①：学術機関等と共同研究を実施する場合、当該共同研究費については助成率を乗じない定額助成となります。ただし、上限があります。詳細は公募要領をご確認ください。

「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」予算額と公募情報

2019年度	予算 : 19.0億円	公募 : (2/4~3/5) : 採択20件/応募52件 (2.6倍)
2020年度	予算 : 18.8億円	第1回公募 : (3/18~5/15) : 採択 新規20件/応募35件 (1.75倍) 第2回公募 : (9/10~10/9) : 採択新規4件/応募10件 (2.5倍)
2021年度	予算 : 20.8億円	第1回公募 : (3/29~5/6) : 採択 新規15件/応募32件 (2.13倍) 第2回公募 : (8/25~9/29) : 採択 新規7件/応募14件 (2倍)
2022年度	予算 : 17.9億円	第1回公募 : (4/11~5/19) : 採択 新規5件/応募21件 (4.2倍) 第2回公募 : (7/13~9/5) : 採択 新規9件/応募17件 (1.9倍)
2023年度	予算 : 未定	公募予告中 : 2月下旬~4月中旬予定 フェーズDの公募は無し



●事業ページ



https://www.nedo.go.jp/activities/CA_00251.html

革新的な省エネルギー技術の開発と共に、社会実装に向けた取り組みを支援 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

「省エネルギー技術戦略」で掲げる重要技術を中心に2050年を目標とした、高い省エネルギー効果が見込まれる技術のシーズ発掘から事業化までを一環して支援する、テーマ公募型事業です。

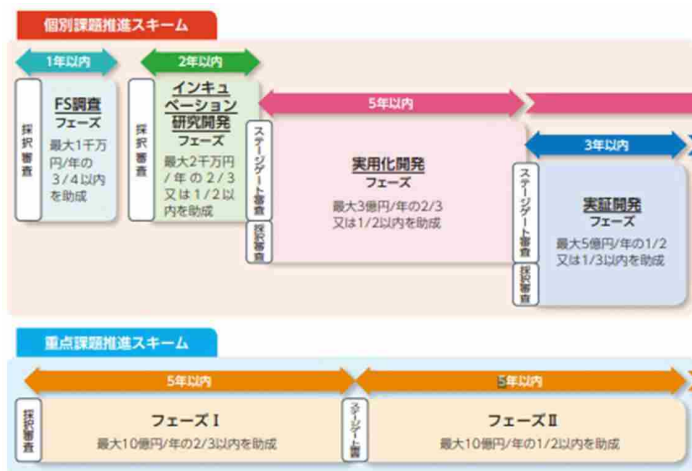
対象者	企業・大学等（企業必須、大学単独の提案は不可）				
技術開発フェーズ※①	個別課題推進スキーム				重点課題推進スキーム
	FS調査	インキュベーション研究開発	実用化開発	実証開発	
	シーズの事業性検討、開発シナリオ策定や省エネルギー効果の検討等を行うための事前調査。	技術シーズを活用し、開発・導入シナリオの策定等を行う。実用化開発・実証開発の事前研究。	保有している技術・ノウハウ等をベースとした応用技術開発。本開発終了後3年以内に製品化を目指す。	実証データを取得するなど、事業化を阻害している要因を克服し、本開発終了後2年以内に製品化を目指す。	業界の共通課題及び異業種が連携・協力して取り組むべきテーマを設定し、横断的に課題解決を目指す。
事業形態助成率※②	助成 NEDO助成率 3/4以内	助成 NEDO助成率 2/3又は1/2以内	助成 NEDO助成率 2/3又は1/2以内	助成 NEDO助成率 1/2又は1/3以内	助成 NEDO助成率 フェーズⅠ：2/3以内 フェーズⅡ：1/2以内
技術開発費上限※③	1千万円/年	2千万円/年	3億円/年	5億円/年	10億円/年
事業期間	1年以内	2年以内	5年以内	3年以内	各フェーズ：5年以内
対象テーマ	「省エネ法」で定められたエネルギー（燃料、熱、電気）の使用量削減に繋がる技術開発・調査				

- ※①：個別課題推進スキームにおいては、インキュベーション研究開発フェーズ、実用化開発フェーズ、実証開発フェーズを、重点課題推進スキームにおいては、フェーズⅠ、フェーズⅡを組み合わせでご応募が可能。次のフェーズに進む際は「ステージゲート審査」を行う。
- ※②：学術機関等と共同研究を実施する場合、当該共同研究費については助成率を乗じない定額助成となります。ただし、上限があります。詳細は公募要領をご確認ください。
- ※③：技術開発費上限 = NEDO負担額 + 実施者負担額

（参考）予算額と公募情報

2021年度	予算：87.0億円	公募(3/29～5/13)：採択20件/応募46件 (2.3倍)
2022年度	予算：71.6億円	2022/2/3～2022/3/14：採択17件/応募38件 (2.2倍) 2022/7/25～2022/8/24：採択9件/応募18件 (2.0倍)
2023年度	予算：未定	公募予告中 2023年2月上旬～3月中旬予定

（参考）スキーム概要



応募から助成金交付決定まで

以下は例年の参考スケジュールであり、最新の公募スケジュールについてはNEDOウェブサイト、Twitterからご確認ください。



<公募に関する問い合わせ>

公募の手续に関する質問の他、提案を予定されている技術開発内容が本事業の趣旨に合致するか等の相談を、下記メールアドレスで受け付けます（日本語のみ）。また、オンライン等による相談も可能です。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 省エネルギー部
担当者：「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」事務局
E-MAIL: shouene@nedo.go.jp

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100197.html

● 事業ページ



社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発課題解決にチャレンジするスタートアップを支援

SBIR推進プログラム (Small Business Innovation Research)

政府機関により決定された研究開発課題に取り組む研究開発型スタートアップ等が実施する研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目指します (内閣府を司令塔として省庁横断的に実施する制度)

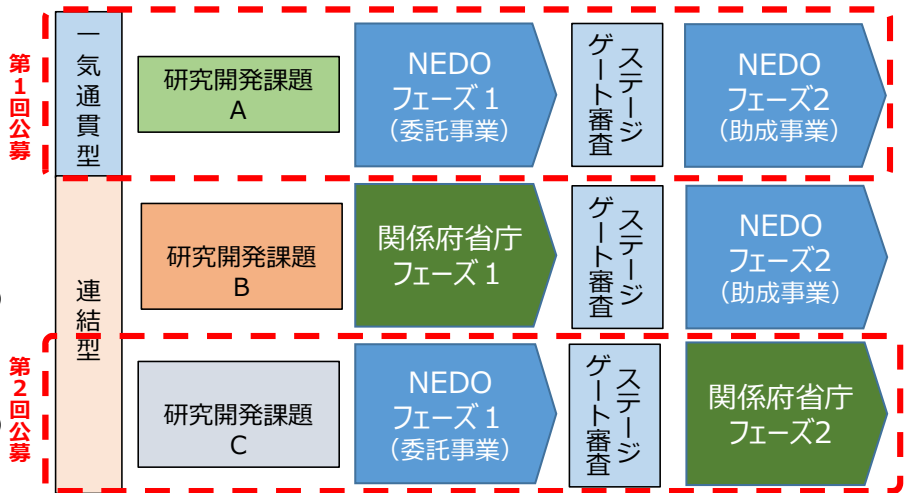
フェーズ	フェーズ1 基盤研究のための概念実証・実現可能性調査を実施	フェーズ2 実用化に向けた研究開発を実施
対象者	研究開発課題に対して、解決に資する技術シーズを有しているスタートアップ等	研究開発課題に対して、概念実証や実現可能性調査を完了しているスタートアップ等
事業形態	委託 (NEDO負担率: 100%)	助成 (NEDO負担率2/3)
上限額	1.5千万円/事業期間	5千万円/事業期間
事業期間	1年	2年
対象課題	研究開発課題一覧のとおり	

制度の実施方式

本事業は、各年度毎に、内閣府がパニングボードにより決定される研究開発課題について、フェーズ1からフェーズ2の研究開発段階を、NEDOが一貫して実施する「一気通貫型」と、何れかのフェーズをNEDO或いは関係府省庁等が実施する「連結型」の2つの方式で実施します。

第1回公募
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100360.html
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100359.html (福祉課題)

第2回公募
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100366.html
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100367.html (福祉課題)



(参考) 予算額と公募情報

年度	予算	公募情報
2021年度	予算: 4億円	公募(8/16~9/17): 採択14件/応募40件 (2.85倍)
2022年度	予算: 第1回 4.7億円 第2回 2.45億円	第1回: (5/26~6/27) 採択7件/応募20件 (2.86倍) 福祉課題 採択3件/応募12件 (4倍) 第2回: (6/28~7/29) 採択2件/応募7件 (3.5倍) (7/4~8/5) 福祉課題 採択1件/応募9件 (9倍)

2022年度第1回公募研究開発課題一覧

福祉課題フェーズ2においては開発体制に実証機関を含み、それら実証機関のユーザーを対象とした実証試験を行うこと

番号	フェーズ1	フェーズ2	研究開発課題名
1	○		CO2排出量を削減する次世代の高効率物流を実現するドローン技術の開発
2	○		プラント・建設物等の屋内点検の省人化・高精度化を実現する技術の開発
3	○	○	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
4	○		災害現場、パトロール等にて活用できる全天候型屋外運用ロボットの開発
5	○		災害現場における救助活動、瓦礫撤去等への活用が可能かつ隊員の負担を軽減するPASの開発
6	○	○	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発 (福祉課題)

2022年度第2回公募研究開発課題一覧


番号	フェーズ1	フェーズ2	研究開発課題名
ア	○		農林漁業者の高齢化や担い手不足の解消に資する自動化・省力化、生産技術の効率化
イ	○		農林水産物の流通の合理化・迅速化
ウ	○		農林水産物の環境配慮、循環型の生産体系実現の可能性拡大に資する技術開発
エ	○		ロボティクスを活用した農林水産分野の人手不足解消に資する研究開発
オ	○		IoT等の活用による内航近代化に係る研究開発
カ	○		海の次世代モビリティによる沿岸・離島地域の課題解決に向けた研究開発
キ	○		造船所の生産性向上に関する研究開発
ク	○		CPS (Cyber Physical System)型レーザー加工に関する研究開発
ケ	○		各障害の特性・個性にも留意しつつ、多様化する障害像への汎用性も見据えた自立支援機器の開発 (福祉課題)

イノベーション推進部のその他事業

■ マッチング支援事業

金融マッチング/NEDOプライベートピッチ	問い合わせ先：イノベーション推進部	inv-privatepitch@nedo.go.jp	
Silicon Valley Immersion Program	問い合わせ先：イノベーション推進部	immersion-pj@nedo.go.jp	・・・P.18
Kawasaki-NEDO Innovation Center	問い合わせ先：K-NIC	TEL:044-201-7020	
ビジネスマッチング	問い合わせ先：イノベーション推進部	TEL：044-520-5175	・・・P.19

■ その他の取り組み

 オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会		・・・P.20
政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口（Plus One）		・・・P.21
NEDO公募情報の確認方法、e-Radへの事前登録について		・・・P.22
NEDO 2023年テーマ公募予定事業一覧		・・・P.23,24

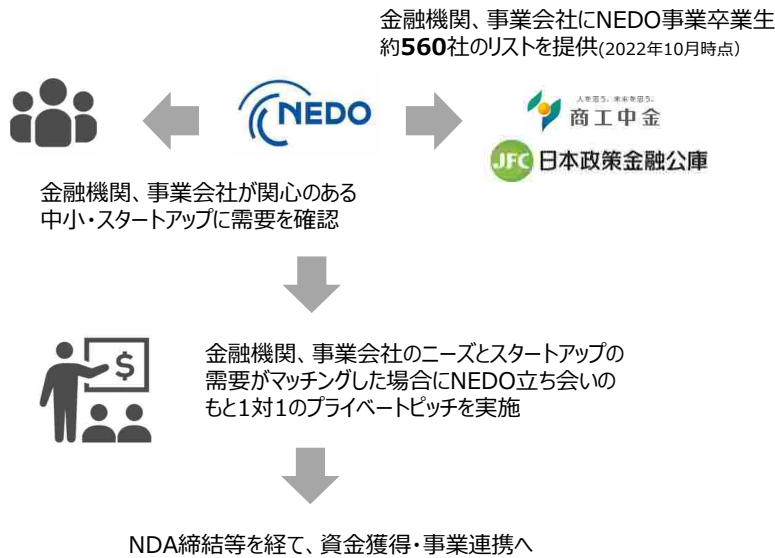
金融機関、事業会社へNEDO卒業生を推薦し、出資や連携につなげ事業化を後押し

金融マッチング/事業会社とのNEDOプライベートピッチ

- ・NEDO事業を終了した中小企業、スタートアップの事業化支援の一環として、金融機関や事業会社（JOIC会員限定）との仲立ちを行います
- ・金融機関又は事業会社とNEDO卒業生の1対1のプライベートピッチを随時実施いたします

プライベートピッチ実施までのイメージ

(参考) 事業化、製品化のイメージ



事例1：株式会社ユニバーサルビュー
ピンホールコンタクトレンズの商品イメージ



事例2：Kyoto Robotics株式会社
TVS3.0のビジョンヘッドの写真例

お問い合わせ先：inv-privatepitch@nedo.go.jp

米国展開を目指す技術系スタートアップ支援プログラム

Silicon Valley Immersion Program

世界で勝負する起業家が世界中から集まり、またそれを支える非常に厚いエコシステムが存在するシリコンバレーにおいて、そのインナーサークルと連携しながら、世界に羽ばたこうとしている日本の起業家の方々をご支援し、世界に通用するビジネスを生み出していきたいというのが本プログラムの狙いです。

1.プログラム内容 (過去の例)	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内研修 (約4日間): Web上とNEDO本部にて米国展開のためのビジネスモデルとピッチ研修 ● シリコンバレー研修 (約1週間): 企業訪問、投資家との面談、ビジネスエキスパートによるメンタリング、現地投資家、大企業、スタートアップなど約200名の聴衆を集めるイベントにてピッチ登壇など
2.支援対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・エネルギー、電子・情報通信、IoT、バイオ・ヘルスケア、医療機器、機械システム、航空宇宙、ロボット、材料・ナノテクノロジー等の「技術」を開発するNEDO事業に採択されたスタートアップ
3.支援要件	<ul style="list-style-type: none"> ● 米国においてもしくはグローバルに事業展開を目指している技術系スタートアップであること ● 英語でのプレゼンテーション、コミュニケーションが可能であること(※NEDO/講師の事前面談実施) ● NEDOの設定する国内研修及びシリコンバレー研修に原則として全日参加できること ● 反社会的勢力またはそれに関わる者との関与がないこと (※事前面談の結果によりSUの審査・選定)
4.過去のプログラム実績	2015年度 (14社) / 2016年度 (開催なし) / 2017年度 (6社) / 2018年 第1回 (6社) 第2回 (6社) 2019年度 (7社) / 2020年度 (6社:完全オンライン開催) / 2021年度 (コロナ感染症拡大により中止) 2022年度 第1回 (8社) 第2回 欧州研修:国内研修 2022/11/28-12/2 仏研修 2023/1/30-2/3実施予定

●SVIP2022採択者：MiraiKikai / FunPep / Asuene / Lullabio / BRI Pharma / fcuro / GramEye / THE PHAGE (8社)

Bootcamp (川崎)



SV 現地研修



NEDO SV Pitch Night



イノベーションを創出する起業家支援拠点

Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)

K-NICは、NEDO、川崎市、公益財団法人川崎市産業振興財団の三者連携により、研究開発型スタートアップと起業家の発掘から支援までをワンストップで行う起業家支援拠点です。



成長分野における独自技術の事業化を目指す起業家、新分野に進出するスタートアップを対象に、各分野の専門家によるアドバイスをはじめ、投資家向けのピッチイベントやメンバー会員同士の交流会などさまざまな支援メニューを実施します。

- 場所：
〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階
(※JR川崎駅西口からペDESTリアンデッキで直結)
- TEL：044-201-7020
- 営業時間：13時～21時（最終受付20時）
- 休業日：土曜/日曜/祝日、年末年始（12/29-1/4）ビル休館日
※ただし、土日祝にイベントが開催される場合有り
※臨時休業日等は、公式サイト「NEWS」に掲載

1. K-NICのお勧めプログラム

①「K-NIC ハンズオン支援プログラム」(12月22日締切済)

● 下期募集終了 https://www.k-nic.jp/event_detail/5235/
NEDOスタートアップ支援事業(助成金)の応募を検討中の方は、特にお勧めのプログラムです。K-NIC登録のNEDO認定カタライザー/審査員等、NEDO事業を良くご存じの方からご指導頂けます(無料)

②「K-NIC 個別相談会」

<https://www.k-nic.jp/consultation/>
起業やビジネスを進める上でのお困りことを解決するために、専門家が1時間みなさまのお悩みをお聞きし、的確なアドバイスをさせていただきます。

2. 起業に役立つイベント!

<https://www.k-nic.jp/event/>

- ・資金調達・資金政策を学べるセミナー
- ・人材採用セミナー
- ・組織作りに関するセミナー

などなど、数多くのセミナーを開催しております!
全て無料ですのでお気軽にご参加ください!

- 会員登録するとメルマガで、最新の「NEDOの公募情報等」が届きます(月3回)

会員募集中!

起業したい方
お待ちしております!

マッチング会を開催し、商談の機会を提供

ビジネスマッチング

イノベーション・ジャパン2022～ビジネスマッチング

2022.10.4-10.31 (開催終了)

NEDOの支援先企業の研究開発成果の事業化を促進するため、ビジネスマッチング、成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等(ユーザー)との“マッチングの場”となることを目的とし、よりすぐりの技術を掲載。

第10回ILS (Innovation Leaders Summit) パワーマッチング

2022.11.29-12/2 リアルイベント+オンライン商談 (開催終了)

対面商談 11/29(火) -12/2(金) @虎ノ門ヒルズ

オンライン商談 11/21(月) - 25(金)、12/5(月) -16(金) @ ILS プラットフォーム

大手企業100社以上と、VCなどが推薦する優良なスタートアップ600社以上が参加。
NEDOが推薦するスタートアップ企業も多数参加。事前予約性のクローズドな場での商談が行われる質の高いマッチングイベント。



NEDOベンチャービジネスマッチング会

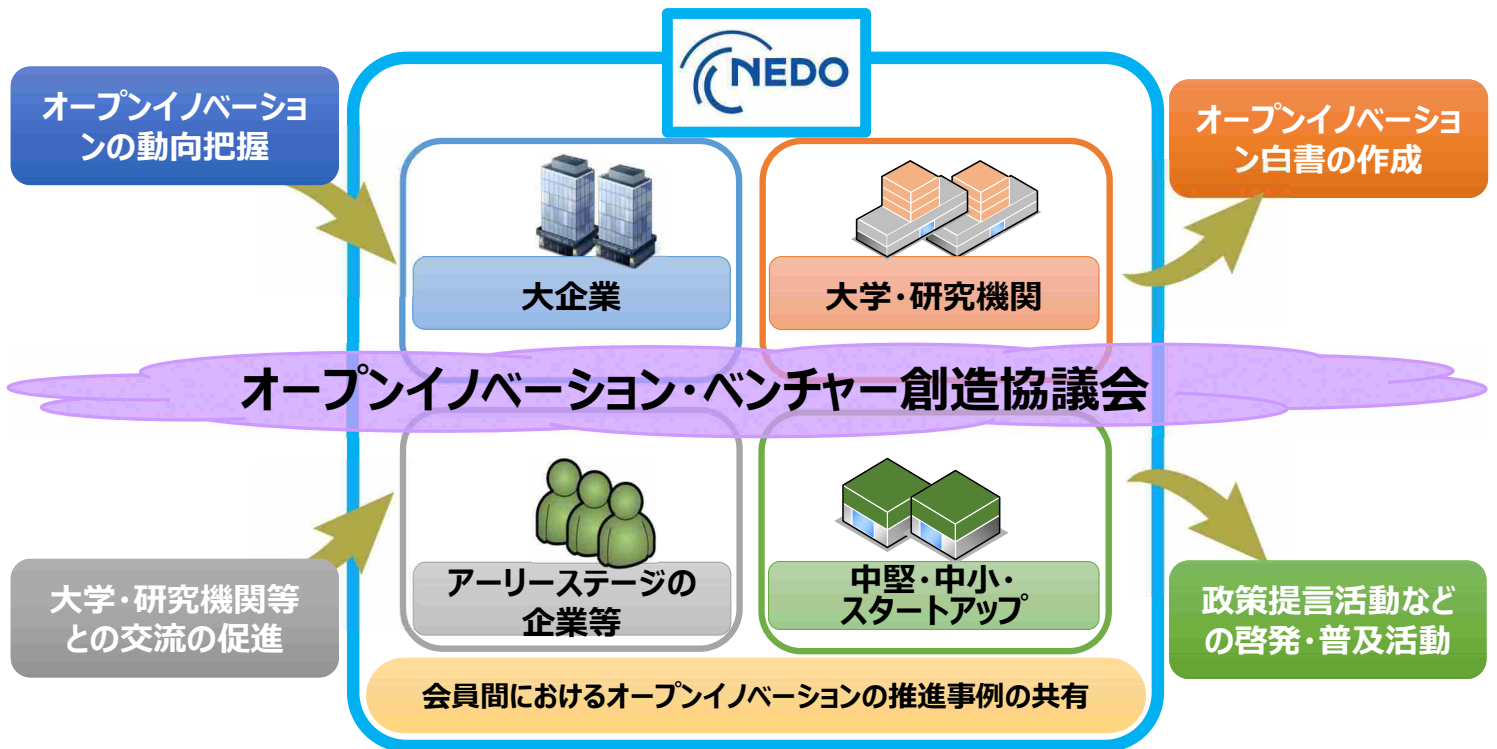
2022.12.22 オンライン (開催終了)

本マッチング会では、「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」で再生可能エネルギーに関する研究開発に取り組んだ、実力派中小・ベンチャー企業が一堂に会し、開発技術をプレゼンテーションする他、開発内容に興味を持った企業等との個別商談をオンラインで実施。



- ・民間事業者の「オープンイノベーション」の取組を推進するとともに、「ベンチャー宣言」を実現することにより、我が国産業のイノベーションの創出及び競争力の強化に寄与することを目的として設立。
- ・NEDOイノベーション推進部が事務局を務め、事務局長はNEDO副理事長が担当する。

■設立:2017年3月1日 ■会員数1,862社<内訳:企業会員1,132社、大学等の賛助会員730 (2022年12月1日現在)>



2022年度 活動実績

今年度はリアル開催とオンラインのハイブリッド形式でOI推進情報を発信

- ① 6/9-10 オープンイノベーションEXPO大阪 JOICブースを出展
- ② 6/21 第48回 NEDOピッチ (SDGs ver.)
 - － SDGsに関連したイノベーションに取り組み、優れた技術をもつ5社のスタートアップが登壇。
- ③ 8/9 第16回 JOICセミナー (カーブアウトのメリットと可能性を知る)
 - － カーブアウトするスタートアップ、母体となる事業会社、双方にとつての利点と課題について共有。
- ④ 9/5 第49回 NEDOピッチ (カーボンニュートラル ver.)
 - － SMBC、大田区、品川区、川崎市と共催し、関連した技術をもつスタートアップ6社と大会社1社が登壇。
- ⑤ 10/21 第50回 NEDOピッチ (先端マテリアル ver.)
 - － 先端的な材料やデバイスの開発に取り組み、優れた技術をもつ5社のスタートアップが登壇。
- ⑥ 11/10 オープンイノベーションピッチ in Central Japan
 - － 地域で活躍する製造業系のスタートアップ4社が登壇。製造業の未来や協業などのディスカッションを実施。
- ⑦ 12/9 NEDOドリームピッチ in 関西
 - － カーボンクレジットを生み出す社会へ、をテーマに5社のスタートアップが登壇予定。

オープンイノベーション白書 第三版の発行

「オープンイノベーションを理解するためにイノベーションを正しく理解する」という観点からイノベーションの本質に立ち返り整理を進めました。マクロ・ミクロの視点でイノベーションの歴史を整理し、世界や日本の市況から要因を分析することで、日本においてもイノベーションを創出しやすくする方策を検討し、未来への提言を示しました。令和2年5月29日に第三版を発行しました。

<NEDO及びJOICのHPにてPDFファイルを掲中>

https://www.joic.jp/joic_members/open_innovation_hakusyo



NEDOチャンネル (You Tube)

NEDOホームページで「刊行物・資料」の NEDO Channel をクリック
各登壇ベンチャーのプレゼンの様子を公開中。(第16回から)

<https://www.youtube.com/channel/UCd4OTUB8A9PidNs-vxF5t8g>



政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップサービス機能強化

スタートアップ支援を行う16機関でMOUを締結し、スタートアップ支援機関プラットフォームを創設

(通称 Plus (プラス) “Platform for unified support for startups”)。今後は、スタートアップ・エコシステム拠点都市とも連携しながら、当該協定を中心とした支援機関連携の拡大（政府系機関、金融機関、ベンチャーキャピタル等）や、個別機関間の取組の深化を通じて、スタートアップ・エコシステムの形成を目指す。

従来のスタートアップ支援の課題

- 各機関がバラバラに支援メニューを出している
⇒ スタートアップにおける情報収集コストが高い
- 支援機関間で情報共有・政策連携が不十分
⇒ 質の高いスタートアップに対して集中支援が行われない

具体的な取組内容

【取組1】 支援情報の共有・整理・発信

定例会の実施、支援施策の一元的な情報発信、ワンストップ窓口を設置

【取組2】 個別事業の相互連携の促進

参加機関間の支援メニューを連携させて、支援の幅を拡大

支援機関の特性に応じて一貫通貫の支援を実施



新規参加機関（7機関）

金融支援・投資

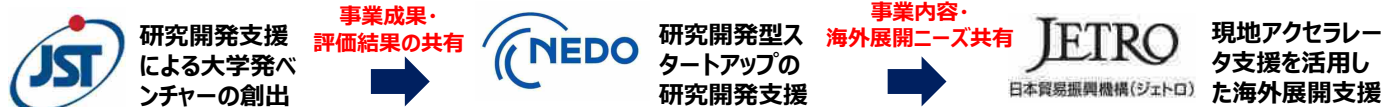
JFC 日本政策金融公庫
地域経済活性化支援機構

知財支援

INPIT

JBIC DBJ NEXI

一貫通貫した支援の例



政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップサービス機能強化

～政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口 “Plus One” ～

- ✓ Plusでの16機関間連携を活用し、一元的な相談体制を構築
- ✓ スタートアップに、支援機関から“プラスワン”な情報提供

政府系の支援を受けたいけど、誰に相談したらいいかわからない



Plus One 問い合わせフォーム*に 入力

いろんな事業があって、どれを選んだらいいかわからない

Plus運営事務局



- ◆ メール・電話・オンライン面談等で相談
- ◆ 最適な事業等を検討し紹介

Plus (Platform for unified support for startups) 参加16機関



- ・ Plus参加16機関の支援メニューから最適なものをご紹介
- ・ 民間企業も含めた他機関とも必要に応じて連携・紹介

Plus Oneへのお問い合わせはこちら

※NEDOのスタートアップ向けHP StarTips from NEDO内に 問合せフォームがあります

Plus スタートアップ



<https://app23.infoc.nedo.go.jp/qa/enquetes/bg4bpyn8qh71>

NEDOホームページ「事業紹介」タブの「分野横断的公募事業」-「関連情報」より毎月更新される当PDF資料をダウンロードいただけます。



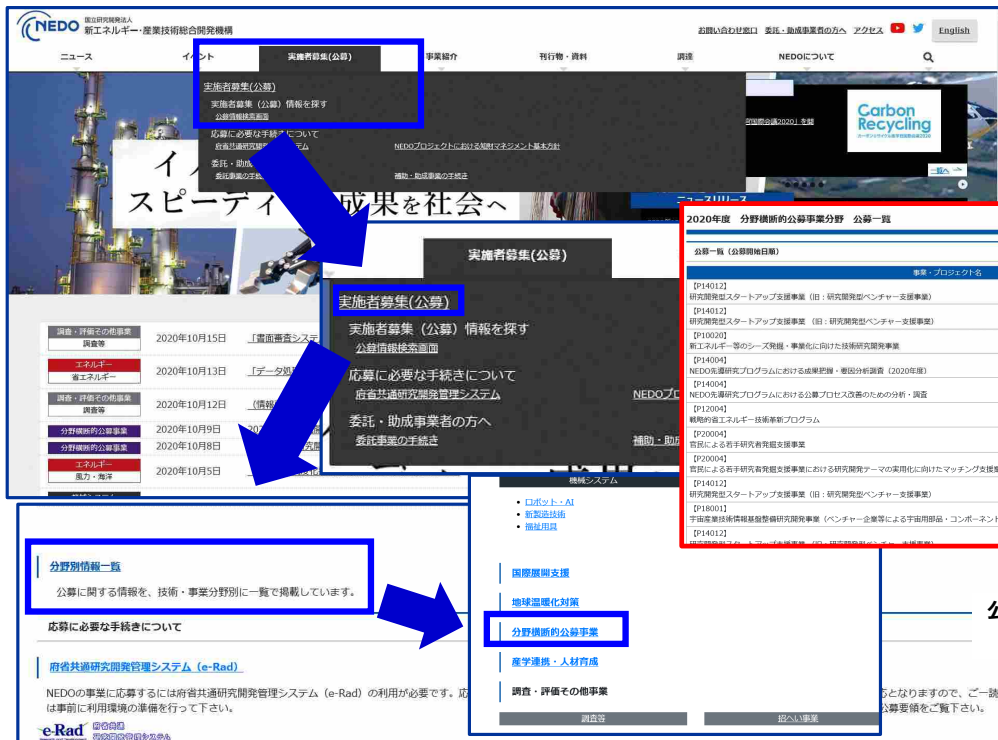
NEDOトップページ中央上の「事業紹介」タブから 事業一覧（分野別）「分野横断的公募事業」をクリック。

「分野横断的公募事業の紹介」をクリックすると当説明資料をご覧いただけます。



<https://starttips.nedo.go.jp/Portals/0/document/plusone/NEDO.pdf>

NEDOトップページ「実施者募集（公募）」タブから、最新の公募情報（基本計画・実施方針・公募要領）一覧をご確認いただけます。



NEDOトップページ上部の「実施者募集（公募）」をクリック！
 → 「分野別情報一覧」
 → 「分野横断的公募事業」
 → 「公募一覧」

公募一覧 (公募開始日)	事業・プロジェクト名	予告掲載日	公募開始日	公募締切日	結果
[P14012]	2020年 研究開発型スタートアップ支援事業 (目: 研究開発型ベンチャー支援事業)	2020年 9月11日	2020年 10月9日	2020年 12月3日	
[P14012]	2020年 研究開発型スタートアップ支援事業 (目: 研究開発型ベンチャー支援事業)	2020年 9月8日	2020年 10月9日	2020年 11月20日	
[P10020]	2020年 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術開発支援事業	2020年 8月6日	2020年 9月10日	2020年 10月9日	
[P14004]	2020年 NEDO共同研究プログラムにおける成果発表・発信促進事業 (2020年度)	2020年 7月22日	2020年 9月2日	2020年 9月16日	2020年 10月7日
[P14004]	2020年 NEDO共同研究プログラムにおける公募プロセス改善のための分析・調査	2020年 7月22日	2020年 9月2日	2020年 9月16日	2020年 10月7日
[P12004]	2020年 官民による新手法研究有償支援事業	2020年 6月25日	2020年 7月30日	2020年 9月4日	
[P20094]	2019年 官民による新手法研究有償支援事業	2019年 12月25日	2020年 6月23日	2020年 8月17日	
[P20094]	2020年 官民による新手法研究有償支援事業	2020年 5月12日	2020年 6月17日	2020年 7月17日	2020年 9月16日
[P14012]	2020年 研究開発型スタートアップ支援事業 (目: 研究開発型ベンチャー支援事業)	2020年 4月23日	2020年 5月26日	2020年 7月15日	2020年 10月9日
[P18001]	2020年 官民共同研究開発型公募事業 (ベンチャー企業等による宇宙開発・コンポジット開発助成)	2020年 2月25日	2020年 5月14日	2020年 6月26日	2020年 9月10日
[P14012]	2020年 官民共同研究開発型公募事業 (ベンチャー企業等による宇宙開発・コンポジット開発助成)	2020年 1月23日	2020年 4月15日	2020年 5月15日	2020年 9月10日

公募情報は (1) 予告掲載日・(2) 公募開始日・(3) 公募締切日・(4) 結果 ごとに掲載します。

NEDOの公式Twitterにご登録いただきますと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせを、随時Twitterにてお送りいたします。



行政運営の効率化を目的とした「電子政府構築計画」に基づき、NEDOの事業※への申請（応募）に当たっては、事前に府省共通研究開発管理システム（e-Rad）に登録を行い、e-RadへのログインIDとパスワードの取得をした上で、電子申請をしていただくことが必須となります。
 ※ 対象事業については、各事業の公募予告ページにその旨記載しますので御確認下さい。

NEDO 2023年 テーマ公募事業一覧 (2022/12/28現在)

事業名称		対象技術分野	事業内容	対象者等	助成・委託規模(上限金額)	事業期間	公募予告日 公募期間	過去の公募期間, 参考サイト, 備考(過去採択率等)	
次世代プロジェクトシーズ発掘事業	次世代のイノベーションを担う人材の育成、我が国における新産業の創出に貢献 官民による若手研究者発掘支援事業 官民による若手研究者発掘支援事業・スタートアップ課題解決支援型	産業技術分野 エネルギー・環境分野	目的指向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘、支援することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進し、我が国における新産業の創出に貢献することを目的として、産業技術分野及びエネルギー・環境分野の研究開発を助成します。研究開発型スタートアップ等と初期的な共同研究等を実施し、研究開発型スタートアップ等が事業推進や新事業創出等に当たって直面する技術的課題を解決するものを支援することを目的として実施します。	大学等の若手研究者(45歳未満)	<共同研究フェーズ> 助成:1テーマあたり3千万円/年 <マッチングサポートフェーズ> 助成:1テーマあたり1千万円/年	最長3年 最長2年	公募予告中 2023/2上旬~予定	2020/6/23~2020/8/17 2020/12/28~2021/2/5 2021/8/31~2021/10/25 2022/3/28~2022/5/16	
	将来の国家プロジェクトになり得る革新的なシーズの発掘 NEDO 先導研究プログラム 新技術先導研究プログラム	エネルギー・環境分野 エネルギー・環境分野	脱炭素社会の実現に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。	企業・大学等による産学連携体制のみ	委託(NEDO100%負担) 1年目:1億円以内 2年目:5千万円以内 3年目:5千万円以内 中間評価の結果による	最長3年 2年目に中間評価	公募中 2022/12/27~2023/2/15	2020/12/25~2021/2/12 2021/12/28~2022/2/16	2020年度:採択29件/応募60件 追加公募:採択21件/応募74件 2021年度:採択28件/応募73件 2022年度:採択20件/応募77件
	新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム	産業技術分野	新産業・革新技術創出に向けて、事業開始後15年から20年以上の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。	原則企業・大学等による産学連携体制	委託(NEDO100%負担) 1年目:1億円以内 2年目:5千万円以内 3年目:5千万円以内 中間評価の結果による(産学連携体制の例外※1)2千万円	最長3年 2年目に中間評価 ※1:1年	公募中 2022/12/27~2023/2/15	2021/2/10~2021/3/26 2022/1/28~2022/3/14	2021年度:採択8件/応募61件 2022年度:採択2件/応募46件
	従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出 NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ	産業技術分野	脱炭素社会の実現に向けて、事業開始後30年先の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。	企業・大学等による産学連携体制のみ	委託(NEDO100%負担) 5百万円~2千万円程度/年	最長5年間 ※2~3年目に中間評価	公募予告中 2023/2上旬~4上旬予定	2021/4/27~2021/6/30 2022/3/28~2022/5/23 ※2 大学・研究機関は40歳未満の若手研究者	2020年度:採択8件/応募40件 2021年度:採択4件/応募41件 2022年度:採択7件/応募38件
研究開発型スタートアップ支援事業	大学、研究機関、スタートアップの起業家の育成支援 NEDO Technology Commercialization Program (TCP)	新規性・革新性の高い技術・分野 高技術・分野	技術シーズの事業化やそのプロセスに関心を有する国内の大学・研究機関等に在籍する研究員、大学院生、学部生であって、将来起業することを視野に入れている方を対象に、ビジネスプラン作成のための研修と、プラン発案の機会を提供します。	企業・大学等の個人	専門家による研修: 人材育成プログラム(活動費の支援は無し)	-	公募前	TCP ピッチイベント(1次審査会):2022/12/19(月)23(金)オンライン TCP 最終審査会:2023/2/1(水)予定 イベント情報は、NEDO TCP 専用サイト https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100103.html 参照	
	研究開発型スタートアップを目指す起業家候補のための事業化/PoC 支援 NEDO Entrepreneurs Program (NEP)	新規性・革新性の高い技術・分野 高技術・分野	技術シーズを有する起業家候補の事業化に向けた事業化/PoC 支援。起業家候補の事業化/PoC 支援。起業家候補の事業化/PoC 支援。	企業・大学等の個人	助成:10万円以内(個人/法人) 助成:100万円以内(個人/法人)	6ヶ月 7.5ヶ月程度	公募前	2021年度第1回 2021/4/1~2021/5/17 2021年度第2回 2021/10/8~2021/11/30 2022/2/22~2022/3/31	2020年度(第1回):採択16件/応募38件 2020年度(第2回):採択22件/応募59件 2021年度(第1回):採択28件/応募75件 2021年度(第2回):採択36件/応募100件 2022年度:採択33件/応募73件
	ベンチャーキャピタル等と連携してシード期のスタートアップを支援 シード期の研究開発型スタートアップに対する事業化支援(STS)	新規性・革新性の高い技術・分野 高技術・分野	具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDO が認定したベンチャーキャピタル等が出資を行うシード期の研究開発型スタートアップに対して、事業化のための助成を行います。	シード期の研究開発型スタートアップ	助成率 2/3 全期間で2千万円若しくは2億円	1.5年若しくは最長2年	公募前	2021/1/25~2021/3/4 2021/5/12~2021/6/17 2021/9/14~2021/10/19 2022/2/14~2022/3/17 2022/7/1	2020年度(第1回):採択6件/応募18件 2020年度(第2回):採択6件/応募21件 2020年度(第3回):採択6件/応募15件 2021年度(第1回):採択5件/応募17件 2021年度(第2回):採択10件/応募19件 2021年度(第3回):採択7件/応募22件 2022年度(第1回):採択5件/応募21件 2022年度(第2回):採択3件/応募20件
	事業会社・VC・研究機関等と連携した事業化支援 Product Commercialization Alliance (PCA)	新規性・革新性の高い技術・分野 高技術・分野	事業時から数年で継続的な事業化をたたくための事業化支援。研究開発型スタートアップ(PCA)を支援。	研究開発型スタートアップ	助成率 2/3 全期間で2.5億円	6ヶ月	公募前	2022/2/26~2021/4/5 2022/2/4~2022/3/31	2020年度:採択10件/応募59件 2021年度:採択5件/応募17件 2022年度(第1回):採択5件/応募25件
	研究開発型スタートアップ企業の実用化開発を支援 地域に眠る技術シーズやエネルギー・環境分野の技術シーズ等を活用したスタートアップの事業化促進事業	エネルギー・環境 新規性・革新性の高い技術・分野	持続可能な社会の創出を目的として、地域の技術シーズを活用する事業計画や、エネルギー・環境分野をはじめとする社会課題を解決する事業計画がある研究開発型スタートアップを支援します。	研究開発型スタートアップ	事業1コース 定額補助 2千万円以下 事業2コース 助成率 2/3 以下 2億円以下	交付決定日から 2023/3/31まで	公募終了	2022/1/28~2021/3/2	事業1コース:採択15件 事業2コース:採択25件 応募108件
	研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う専門人材を輩出 高度専門産業支援人材育成プログラム(SSA)	-	日本のベンチャー・エコシステムの構成員として公益的視点、高い知見や高い専門性を持って先端の研究開発型スタートアップの掘り起こしから成長を伴走支援できる、現場の中核的役割を担う高度専門人材、上記のキャリアパスを志向するイノベーション支援人材を、産・学・官・公・民の横串で育成します。	人材育成プログラム		4ヶ月	公募前	2022/3/11~2022/3/31 2022/8/8~2022/9/2	2017年度:OJT参加25名/応募72名 2018年度:OJT参加41名/応募85名 2019年度:OJT参加31名/応募64名 2020年度:未実施 2022年度(第1回):参加39名/応募93名 2022年度(第2回):参加39名/応募101名
研究開発成果の実用化・事業化支援事業	再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業	再生可能エネルギー等	本事業は、技術の事業化までのステップや事業化計画の進捗状況に合わせて、2つの制度(新エネ中小・スタートアップ支援制度、未来型新エネ実証制度)及び6つのフェーズ(社会課題解決フェーズA及びB、新市場開拓フェーズa及びb、フェーズC、フェーズD)を設け、中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業のご提案を公募・選定し、事業化を見据えた技術開発支援を行います。また、「イノベーション・コスト構想」の推進につながる技術開発や実用化・実証研究については支援を強化します。	中小企業等 国内に登録済の企業等	社会課題解決 フェーズA 助成率8/10 1千万円/件 フェーズB 助成率8/10 5千万円/件 新市場開拓 フェーズa 助成率2/3 1千万円/件 フェーズb 助成率2/3 5千万円/件 フェーズC 助成:助成率 2/3 1.5億円/件 フェーズD 助成:助成率 2/3 3億円/件 (大企業は助成率1/2)	1年 2年 1年 2年 2年 3年	公募予告中 2023/2下旬~4月中旬予定	第1回 2021/3/29~2021/5/6 第2回 2021/8/25~2021/9/29 第1回 2022/4/11~2022/5/19 第2回 2022/7/13~2022/9/5	2020年度(第1回):採択20件/応募35件 2020年度(第2回):採択4件/応募10件 2021年度(第1回):採択15件/応募32件 2021年度(第2回):採択7件/応募14件 2022年度(第1回):採択5件/応募21件
	革新的な省エネルギー技術の開発と共に、社会実装に向けた取り組みを支援 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム	省エネルギー	「省エネ法」で定められたエネルギー(燃料、熱、電気)の使用量削減に繋がる技術開発・調査	企業・大学等(企業必須、大学単独の提案は不可)	FS調査 助成率 3/4 以内 1千万円/年 イノベーション研究開発フェーズ 助成率 2/3 又は 1/2 以内 2千万円/年 実用化開発 助成率 2/3 又は 1/2 以内 3億円/年 実証開発 助成率 1/2 又は 1/3 以内 5億円/年 重点課題推進スキーム 助成率 2/3 又は 1/2 以内 10億円/年	1年以内 2年以内 5年以内 ※4 3年以内 ※4 フェーズI: 5年以内 ※4 フェーズII: 5年以内 ※4	公募予告中 2023/2上旬~3月中旬予定	2021/3/29~2021/5/13 2022/2/3~2022/3/14 2022/7/25~2022/8/24	2021年度:採択20件/応募46件 2022年度:採択17件/応募38件 2022年度追加:採択9件/応募18件 ※3:NEDO負担率+実施者負担額 ※4:事業期間が3年以上の場合、途中で継続可否の審査を行います。
	社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発テーマ解決にチャレンジする スタートアップを支援 SBIR推進プログラム (Small Business Innovation Research)	各省庁ニーズに基づく研究開発課題	政府機関が解決を目指す社会課題を基に研究開発テーマを設定し、その解決に資する研究開発成果を円滑に社会実装イノベーション創出につなげるスタートアップや中小企業を支援します。フェーズ1 基盤研究のための概念実証・実現可能性調査を実施 フェーズ2 実用化に向けた研究開発を実施	研究開発型スタートアップ	フェーズ1 基礎・FS 委託:負担率100% 1.5千万円/事業期間 フェーズ2 研究開発 助成:助成率2/3 5千万円/事業期間	1年 2年	公募前	2021/08/16~2021/9/17 2022年度 第1回 5/26~6/27 第2回 6/28~7/29 第2回補正課題 7/4~8/5	2021年度:採択14件/応募40件 2022年度第1回:採択7件/応募20件 福祉課題:採択3件/応募12件 2022年度第2回:採択2件/応募7件 福祉課題:採択1件/応募9件

現在新制度検討中

2023年春以降に新事業として

公募予定

中小企業・スタートアップ向けポータルサイト

Contents

- NEDOの**事業公募・支援情報**
- **ワンストップ相談窓口「Plus One」**
- **事業の成果・マッチング関連情報**
- **実用化ドキュメントなどの記事・動画**

StarT!Ps
from NEDO



「StarT!Ps from NEDO」アクセス方法

<https://startips.nedo.go.jp/>



人、制度が寄り添う支援を目指して

NEDOは、皆様の優れたアイデア・技術を活かして、
ともに日本の未来を創るイノベーションを起こしたいと考えております。

ぜひNEDOのテーマ公募事業にご応募ください。

NEDOは、産学官一体で産業技術力の強化とエネルギー・地球環境問題の解決を目指しています。

NEDOは、全国の民間企業、大学及び公的研究機関等の持つ様々な技術シーズや技術開発能力を活用し、事業化に結び付けることが、世界における日本の競争力強化の鍵だと考えています。

NEDOは、産業技術分野、エネルギー・地球環境分野において、創造的で独創的な研究開発に取り組む方々のために、シーズ発掘から実用化まで様々なフェーズで幅広い支援を行っています。また、各種マッチングイベントにもご参加いただけます。

皆様のご提案からイノベーションを起こすためにも、ぜひ積極的にご応募ください。

NEDO公募事業についてのご質問やご意見はNEDOテーマ公募事業担当がしっかり対応いたしますので、お気軽にお問合せください。

NEDOテーマ公募事業担当 一同

本部：〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアム川崎セントラルタワー（総合受付16F）

- イノベーション推進部 TEL：044-520-5170
- 新領域・ムーンショット部 TEL：044-520-5245
- 国際部 TEL：044-520-5190
- 省エネルギー部 TEL：044-520-5180

関西支部：〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル タワーC 9F
TEL：06-4965-2130 FAX：06-4965-2131

<当資料に関するお問い合わせ先>

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

イノベーション推進部 総括グループ TEL：044-520-5170 E-mail：inv-caravan@nedo.go.jp

【お断り】当資料は2022年12月28日時点の資料です。諸事情等により記載内容に変更が生じる可能性があります。